

豊橋市中央図書館リニューアル基本計画

令和7年3月

豊橋市

[目次]

第1章 本計画の位置づけ及び中央図書館の役割.....	1
1.1. 本計画の位置づけ	1
1.2. 中央図書館としての役割.....	2
第2章 豊橋市中央図書館の現状及び課題	3
2.1. 施設概要	3
2.2. 統計データ	7
2.3. 市民ニーズ	12
2.4. 建物調査	21
2.5. 計画策定に向けた課題	28
2.6. 類似施設の先進事例	29
第3章 基本方針	32
3.1. 中央図書館リニューアルの改修コンセプト及び整備方針.....	32
3.2. 蔵書目標規模	33
第4章 サービス計画	34
第5章 改修計画	36
5.1. 建築計画	36
5.2. 構造計画	38
5.3. 設備計画	39
5.4. 外構計画	40
5.5. ICT関連計画	40
5.6. ゾーニングイメージ	41
第6章 事業計画	43
6.1. 概算事業費	43
6.2. 整備スケジュール	43

第1章 本計画の位置づけ及び中央図書館の役割

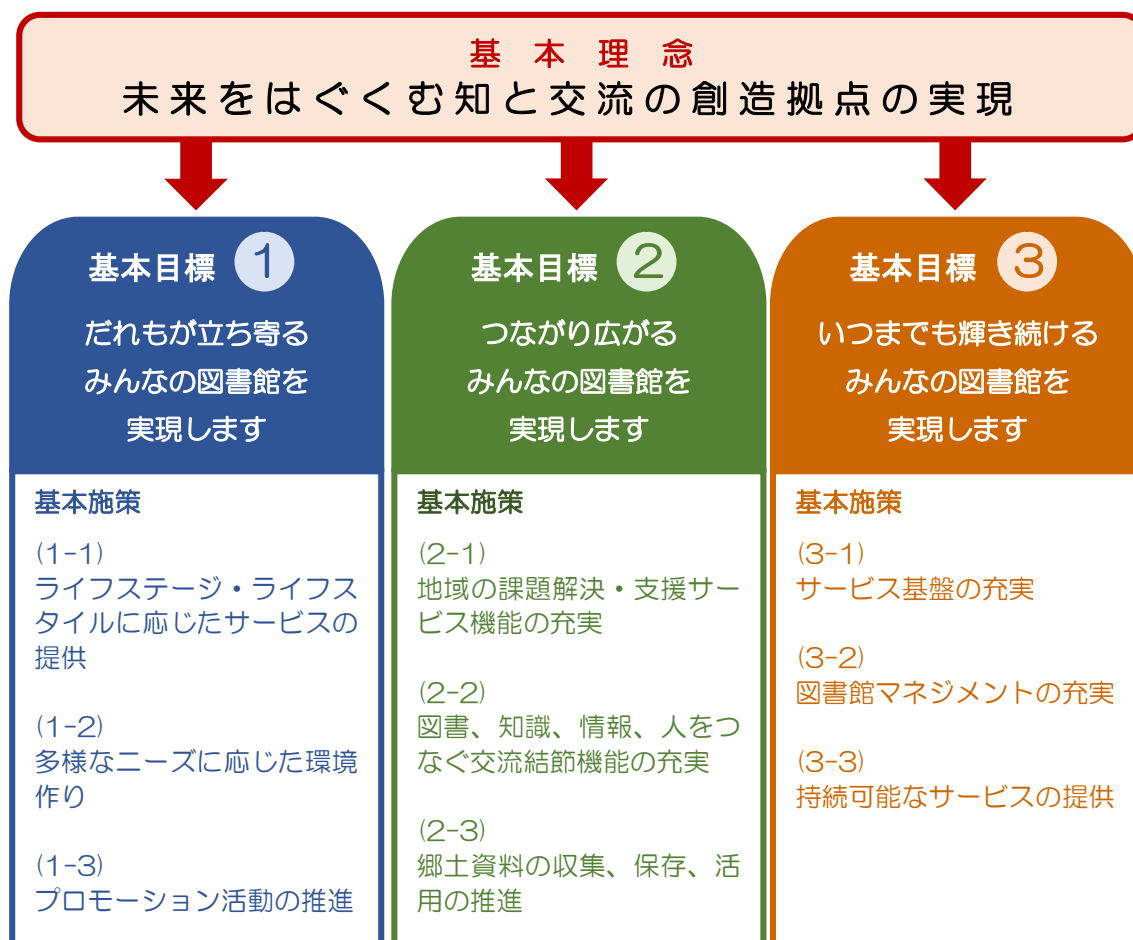
1.1. 本計画の位置づけ

図書館は、これまでのように図書の収集・提供を図る役割に加え、図書館という空間を通して図書と人、知識と人、情報と人、人と人などを直接結びつけるまちづくりの創造拠点として、地域に溶け込み、持続可能なまちづくりや地域の活性化に貢献するような変革が求められています。また、予測困難な社会の変化に対し、市民、地域、団体、企業など一人ひとりが主体的に関わり、どのような未来を創り上げていくのかといった問題に対し、自ら考え、自ら可能性を発揮し、より良い社会の創り手となるよう、これからの時代に求められる知識や能力を身に付け、積極的に学び続けることが重要となっており、これらの手助けとして図書館が担うべき役割は大きいものとなっています。

こうした背景から、市内各図書館の現況・課題の整理、重点取組分野を検討し、「未来をはぐくむ知と交流の創造拠点の実現」を基本理念とした豊橋市図書館基本構想（以下「基本構想」）を平成31年3月に策定しました。

本基本計画では、基本構想を踏まえた中央図書館のリニューアルに向けて、より具体的な方針を策定することを目的としています。今後、本計画に基づき改修設計を実施していきます。

図表 1-1 豊橋市図書館の基本理念



1.2. 中央図書館としての役割

中央図書館では、基幹図書館として、また歴史的図書資料を備えた図書館として、あらゆる知的要求に応えることができるよう、以下の施設コンセプト及び中央図書館の役割を掲げています。

●施設コンセプト

「知の拠点」

- ・市民の知的欲求に応える図書館（多種多様かつ豊富な資料の収集・保存・活用）
- ・地域の課題解決やその支援に取り組む図書館
- ・市内図書館ネットワークの基幹図書館及び東三河地域の中核となる図書館

●中央図書館の役割

①アカデミック化の推進

基幹図書館として、一般書から専門書までを網羅的に収集・提供するなど、アカデミック化[知の拠点化]を推進します。

②貴重な郷土資料の収集

羽田八幡宮文庫をはじめとした貴重な郷土資料の収集、保存、活用を推進します。

③行政連携・外部連携の推進

美術博物館や自然史博物館との連携[MLA連携]をはじめ、地域、団体、企業等と連携して魅力的なイベントや企画展等を開催します。

④政策立案支援の推進

行政課題に対して積極的に情報資源を提供するなど、政策立案支援サービスを実施します。

⑤図書館員等の人材育成

多様な知識や経験を有する人材の確保をはじめ、図書館員の人材育成、能力向上を図ります。

⑥ボランティア等との連携推進

図書館ボランティアの育成やさまざまな活動団体との連携・協働を推進します。

⑦分館・分室の統括支援

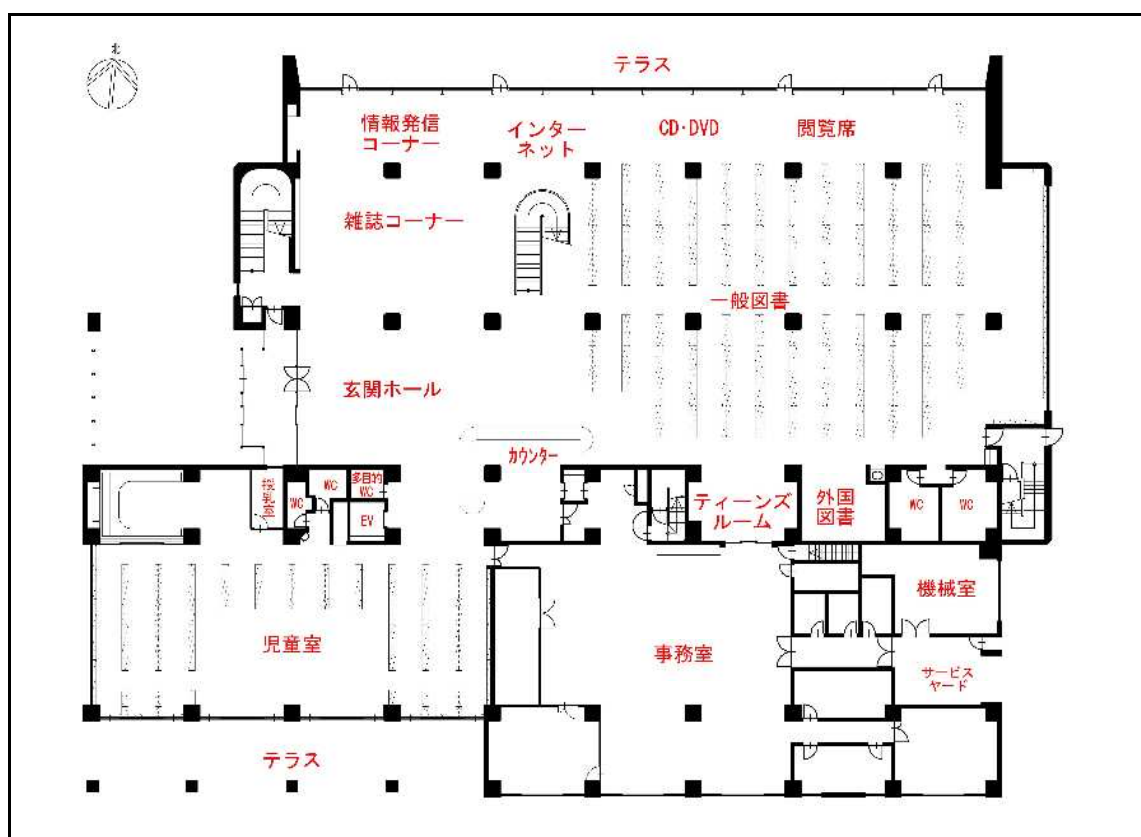
図書館全体の管理・運営を担い、分館・分室を統括支援し、サービス基盤の充実・強化を図ります。

第2章 豊橋市中央図書館の現状及び課題

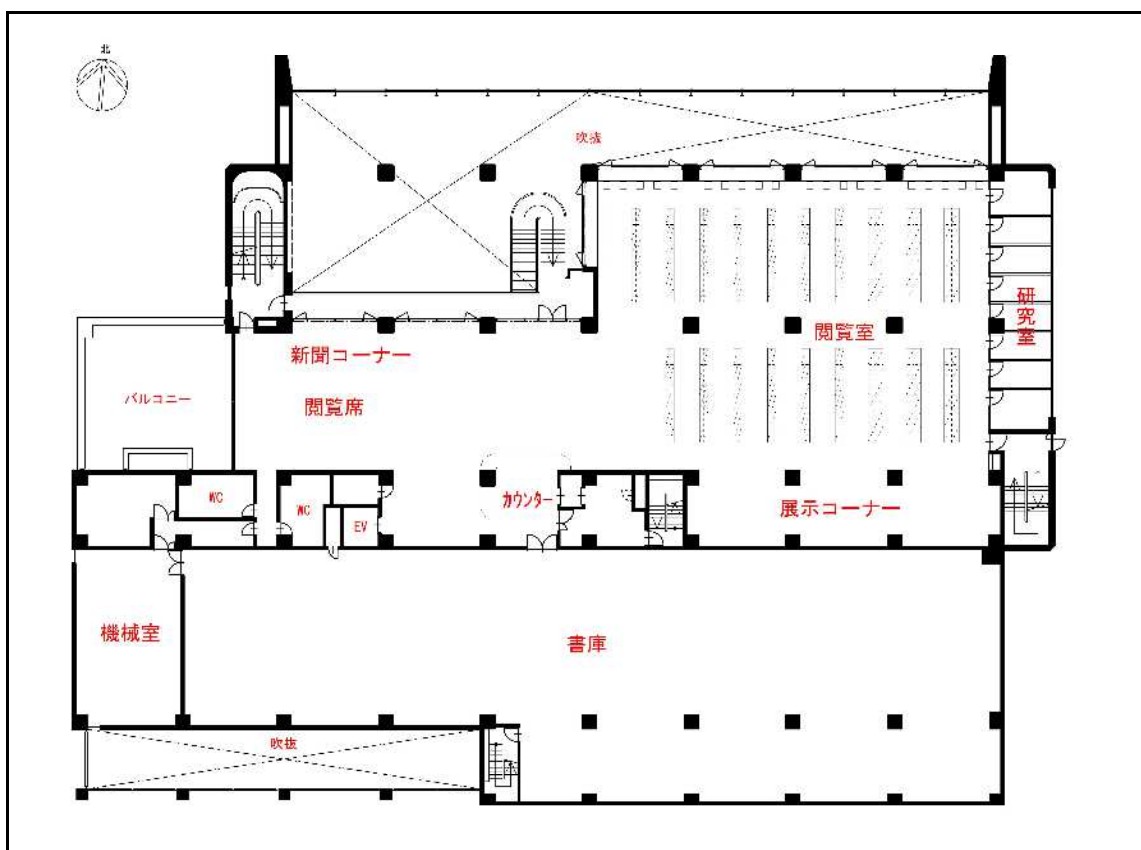
2.1. 施設概要

住所	愛知県豊橋市羽根井町 48 番地		
構造	鉄筋コンクリート造・一部 P C 造、地下 1 階、地上 3 階、一部 4 階建		
敷地面積	6,426.01 m ²		
建築面積	2,312.30 m ²		
延床面積	5,655.32 m ²	地下	198.68 m ²
		1 階	2,027.55 m ²
		2 階	1,724.29 m ²
		3 階	1,597.45 m ²
		4 階	107.35 m ²
最高高さ	17.75m		
基礎構造	杭基礎（遠心力プレストレストコンクリート杭）		
電気設備	受変電設備		
機械設備	空調換気設備、給排水衛生設備、消火設備		
昇降機設備	エレベーター：1 台、ダムウェーター：1 台		
現図書館開館	昭和 58 年（1983 年）2 月 23 日		
主な室	開架室、情報発信コーナー、閲覧コーナー、展示コーナー、会議室、集会室、学習室		
蔵書冊数	698,558 冊（令和 6 年 3 月 31 日現在）		
開館時間	午前 9 時 30 分から午後 7 時（土・日・祝日は午後 5 時まで）		
休館日	毎週月曜日（祝日と重なった場合は翌日） 毎月第 4 金曜日（祝日と重なった場合は前日） 年末年始 特別整理期間		
駐車場	正面駐車場（58 台） 西側駐車場（140 台）		
駐輪場	180 台		
その他	無料公衆無線 LAN		

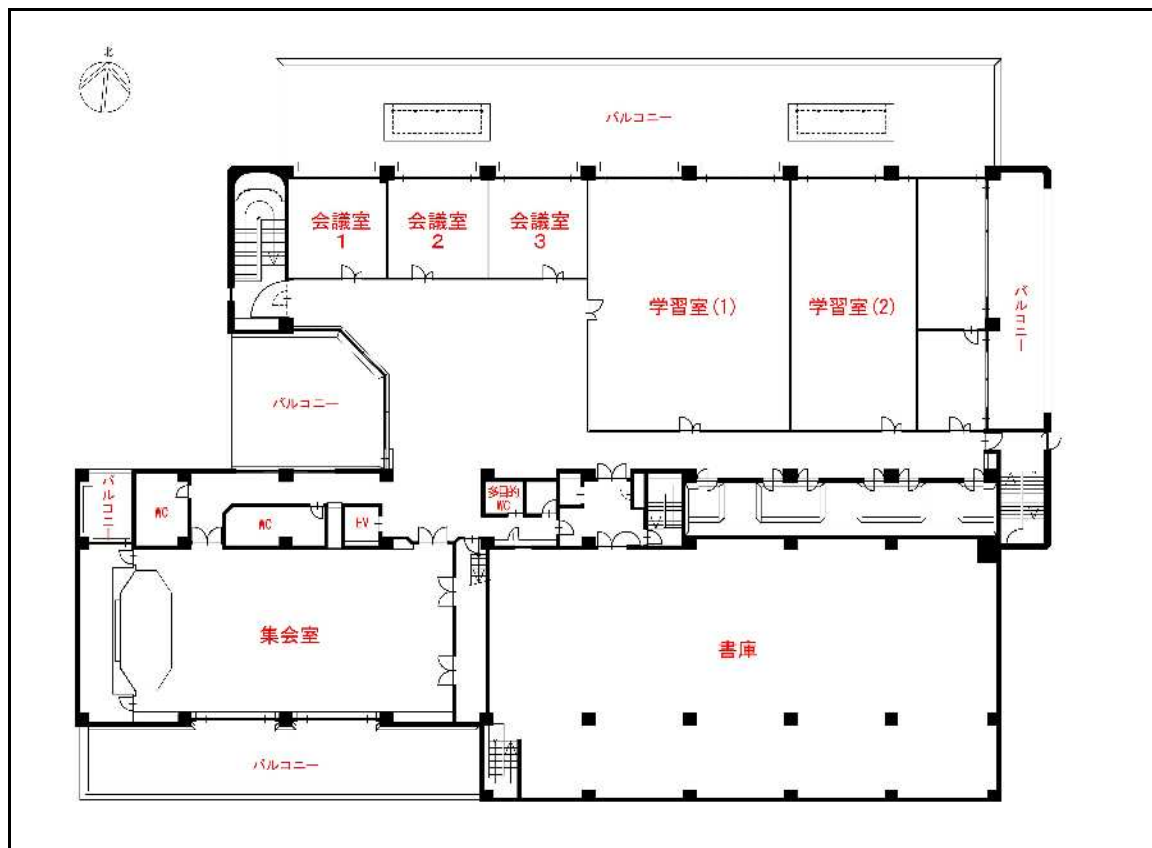
図表 2-1 1階平面図



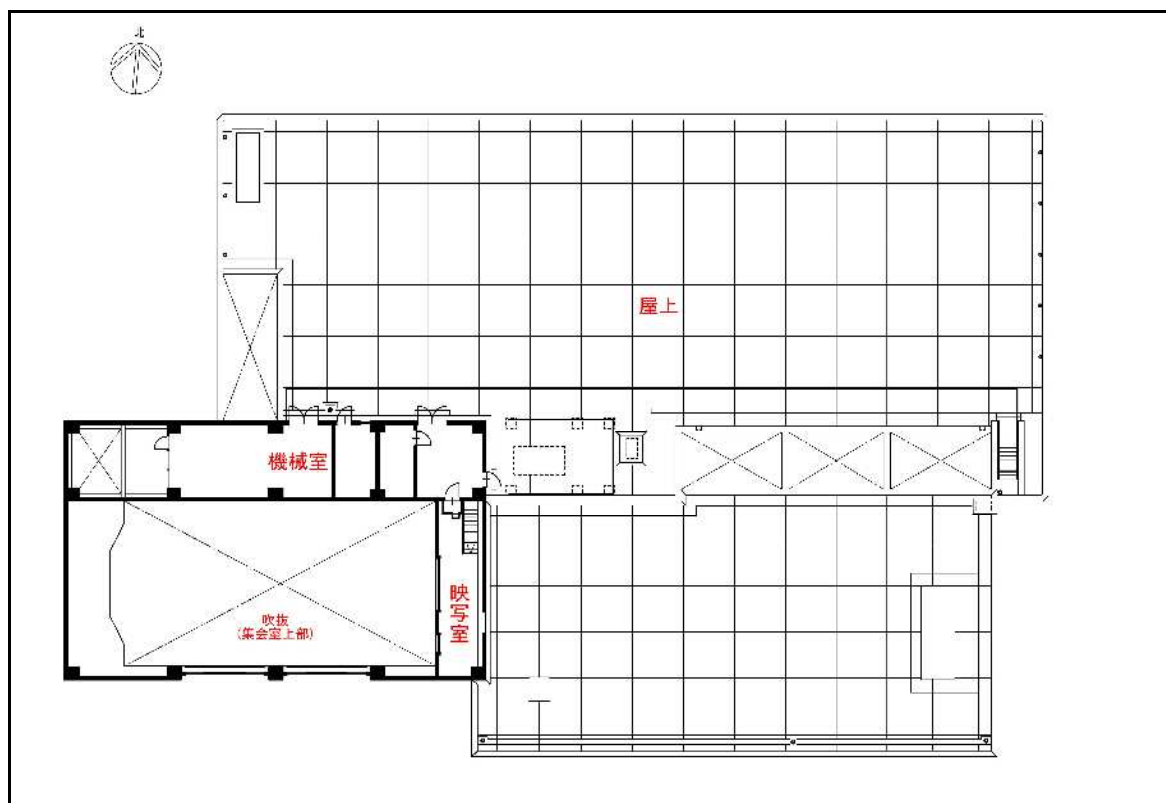
図表 2-2 2階平面図



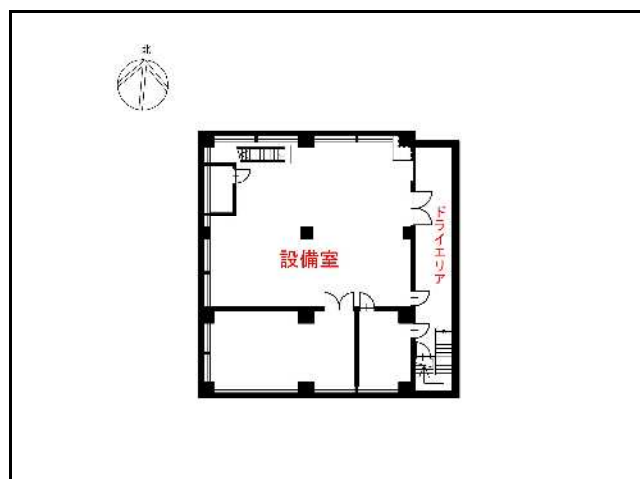
図表 2-3 3階平面図



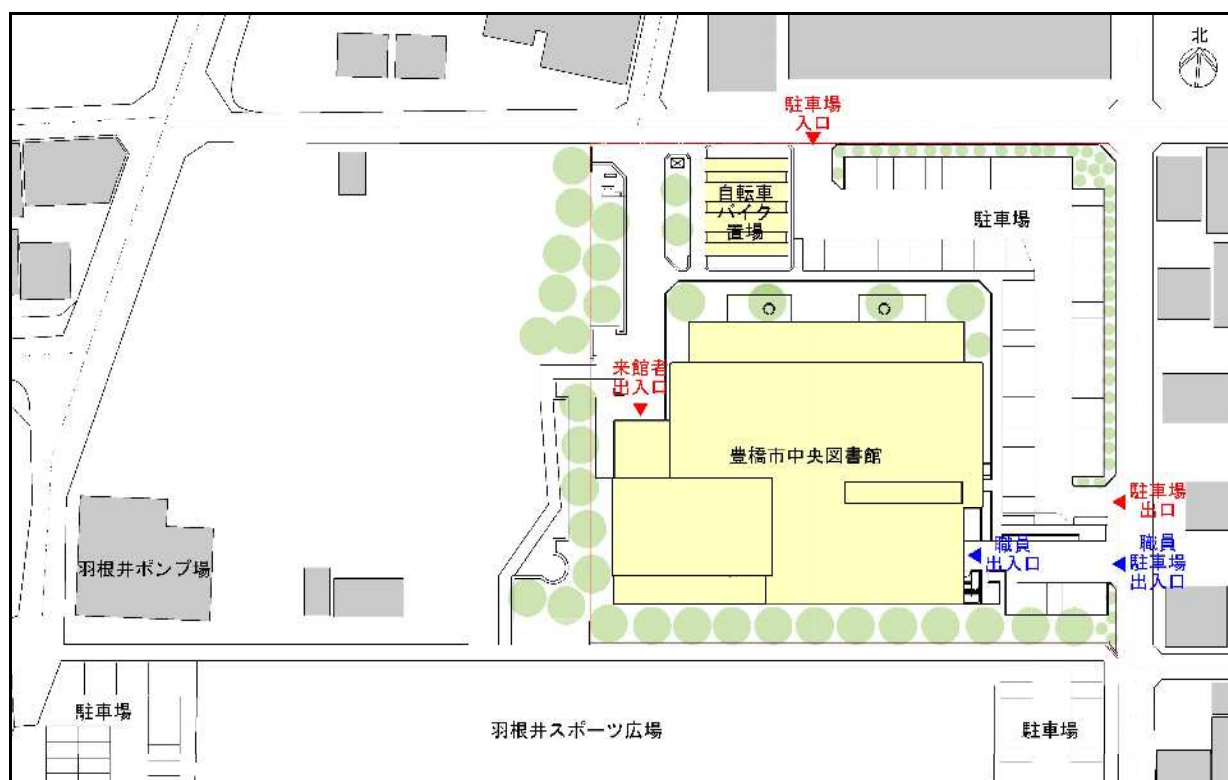
図表 2-4 4階平面図



図表 2-5 地下1階平面図



図表 2-6 配置図



2.2. 統計データ

(1) 蔵書冊数の状況

令和6年3月31日現在の、市内各図書館の蔵書冊数を図表2-7に示します。市全体で約111万冊の図書を所蔵しており、そのうち約70万冊を中央図書館が所蔵しています。

大清水図書館、まちなか図書館は閉架書庫を有していませんので、図書の多くを中央図書館と向山図書館が所蔵しており、向山図書館は分室への配本機能を担っています。

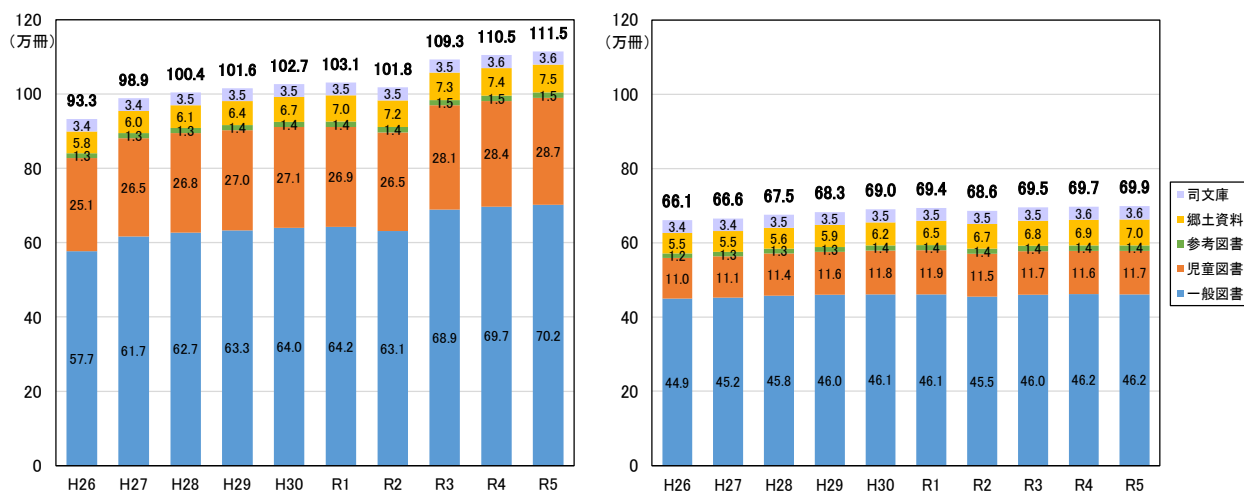
平成26年度から令和5年度までの10年間の中央図書館の蔵書冊数の推移は図表2-8のとおりです。10年間で3.8万冊の図書が増加しています。また、向山図書館は老朽化してきており、将来的にその蔵書を中央図書館が担うこととなる可能性もあります。

図表2-7 蔵書冊数の状況（令和5年度末現在）

		一般図書	児童図書	参考図書	郷土資料	司文庫	計	開架率
中央図書館	開架	105,234	40,163	7,480	9,325	18,056	180,258	25.8%
	閉架	356,276	76,947	6,885	60,566	17,626	518,300	
	合計	461,510	117,110	14,365	69,891	35,682	698,558	
向山図書館	開架	72,057	84,247	146	1,609	-	158,059	62.0%
	閉架	52,006	42,386	136	2,316	-	96,844	
	合計	124,063	126,633	282	3,925	-	254,903	
大清水図書館	開架	56,550	26,087	124	1,294	-	84,055	100.0%
	閉架	0	0	0	0	-	0	
	合計	56,550	26,087	124	1,294	-	84,055	
まちなか図書館	開架	60,156	16,835	0	0	-	76,991	100.0%
	閉架	0	0	0	0	-	0	
	合計	60,156	16,835	0	0	-	76,991	
計	開架	293,997	167,332	7,750	12,228	18,056	499,363	44.8%
	閉架	408,282	119,333	7,021	62,882	17,626	615,144	
	合計	702,279	286,665	14,771	75,110	35,682	1,114,507	

※向山図書館には分室の蔵書冊数も含まれる。

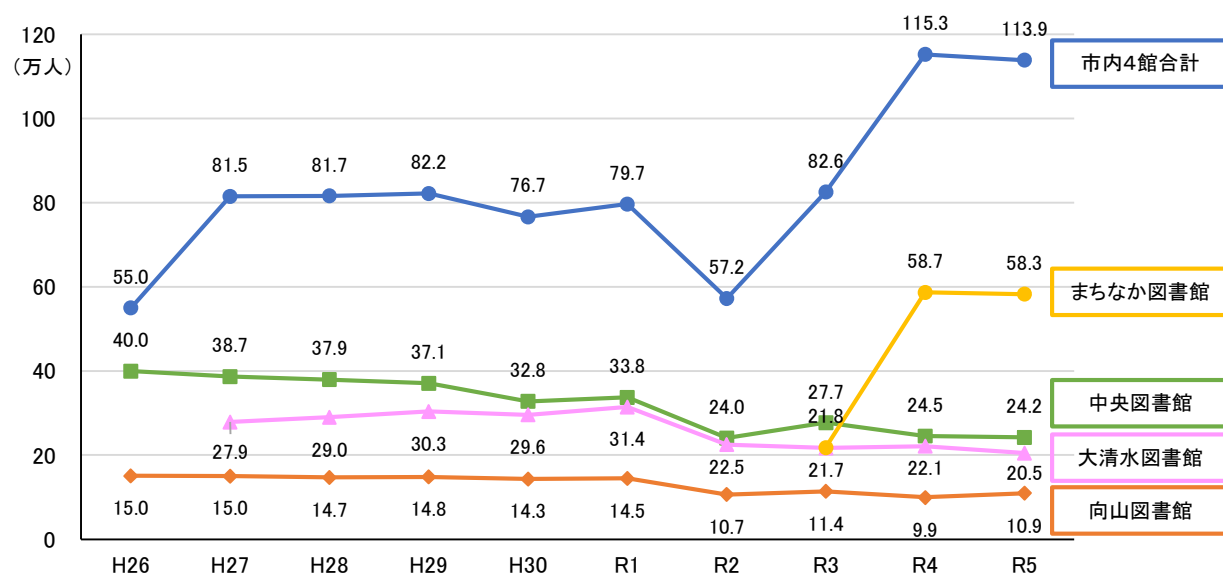
図表2-8 蔵書冊数の推移（左：市内4館合計 右：中央図書館）



(2) 利用状況の推移

平成 26 年度から令和 5 年度の、来館者数の推移を図表 2-9 に示します。まちなか図書館が令和 3 年 11 月に開館し、豊橋市図書館としては、来館者数は増加していますが、中央図書館の来館者数は減少傾向にあります。一定数の中央図書館利用者が、まちなか図書館を利用することとなったと考えられます。

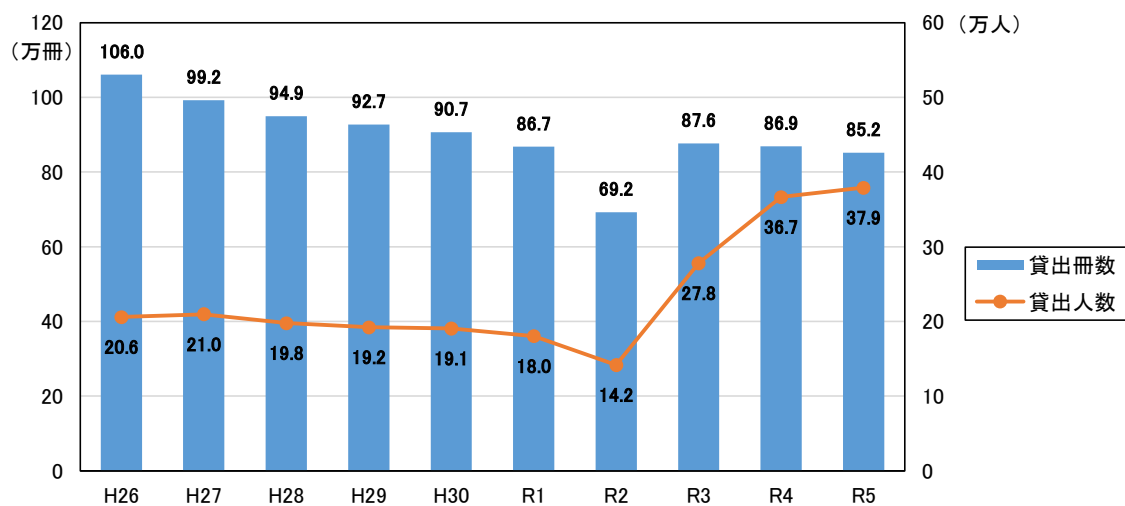
図表 2-9 来館者数の推移



(3) 貸出冊数及び貸出人数の推移

平成 26 年度から令和 5 年度までの中央図書館の貸出冊数及び貸出人数の推移を図表 2-10 に示します。貸出冊数及び貸出人数ともに、平成 26 年度から令和 2 年度までは減少していますが、令和 3 年度で大幅に増加しています。その要因としては、令和 3 年度から Web 上で貸出延長を行った冊数、人数はすべて中央図書館に計上していることが考えられます。

図表 2-10 貸出冊数及び貸出人数の推移



※ Web で貸出延長した冊数、人数を令和 3 年度より中央図書館に計上。

(4) 会議室等利用者数の推移

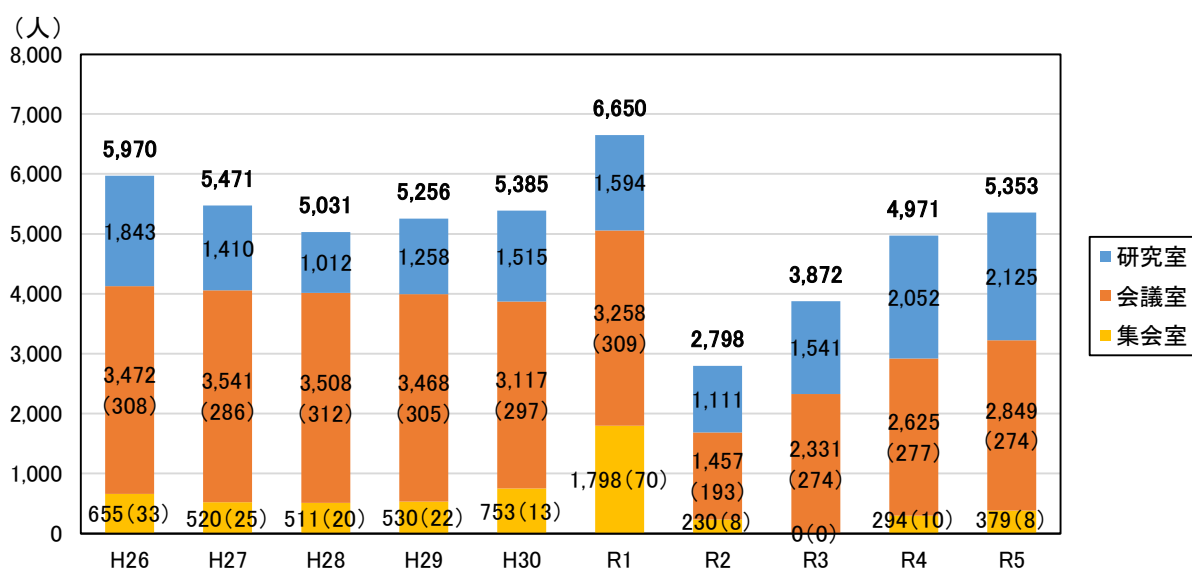
平成 26 年度から令和 5 年度までの、会議室、研究室、集会室（以下「会議室等」）の利用者数の推移を図表 2-11 に示します。

会議室は、平成 26 年度から令和元年度までは大きな増減はなく、コロナ禍であった令和 2 年度に大幅に減少しましたが、令和 5 年度は 2,849 人（274 件）となっており、コロナ禍以前の利用状況に戻りつつあります。

研究室は、平成 28 年度が 1,012 人と最も少かったですが、近年（令和 2 年度以降）は増加傾向となっており、令和 5 年度は平成 26 年度以降で最も多い 2,125 人となっています。

集会室は、令和元年度が 1,798 人（70 件）と最も多かったですが、コロナ禍であった令和 2 年度に大幅に減少し、それ以降も利用は少ないままとなっています。これは、令和 3 年度の冬から空調設備が故障していることが影響していると考えられます。

図表 2-11 会議室等の利用者数の推移



※1 () 内の数値は利用件数を示す。

※2 利用者数、利用件数に市主催事業は含まない。

(5) 愛知県内の市中央図書館との比較

本市の図書館の水準を愛知県内 38 市と比較した結果を図表 2-12 に示します。豊橋市の蔵書数は県内 8 番目と多くなっていますが、人口 1 人あたりに換算すると下位水準となっています。また、開架率及び貸出冊数も下位水準となっています。

図表 2-12 愛知県内市図書館との比較（中央図書館）

(人口順)

整理 番号	自治体名	人口 (千人)	施設 面積 (㎡)	蔵書冊数 (千冊)		人口 1人当たり 蔵書冊数 (冊)		1㎡当たり 蔵書冊数 (冊)		開架状況			来館者数 ※1 (人)	貸出状況			
				順位	順位	順位	順位	開架 冊数 (千冊)	開架率 (%)	順位	貸出 冊数 (千冊)	人口1人当 り貸出冊数 (冊)		順位			
1	名古屋市	2,293	11,286	1,523	2	0.7	38	135	11	278	18.3	36	638,951	4	1,944	0.8	38
2	豊田市	419	12,567	1,617	1	3.9	15	129	13	941	58.2	12	837,115	2	2,721	6.5	10
3	岡崎市	385	7,895	954	3	2.5	30	121	17	487	51.0	19	1,252,598	1	1,941	5.0	23
4	一宮市	382	6,589	673	10	1.8	35	102	22	—	—	—	579,518	5	1,451	3.8	30
5	豊橋市	373	5,655	697	8	1.9	34	123	16	179	25.7	35	245,147	15	840	2.3	36
6	春日井市	310	4,983	794	5	2.6	29	159	7	381	48.0	20	317,022	11	1,345	4.3	26
7	安城市	189	6,808	805	4	4.3	10	118	18	552	68.6	7	521,237	6	1,899	10.0	3
8	豊川市	187	5,773	562	11	3.0	24	97	23	235	41.8	28	375,243	8	767	4.1	28
9	西尾市	171	2,722	765	6	4.5	8	281	2	349	45.6	24	179,408	21	1,065	6.2	12
10	刈谷市	152	5,509	756	7	5.0	6	137	9	200	26.5	34	317,100	10	944	6.2	13
11	小牧市	151	6,379	492	12	3.3	22	77	29	364	74.0	2	740,928	3	1,019	6.7	9
12	稲沢市	135	4,968	679	9	5.0	4	137	10	—	—	—	255,362	14	1,254	9.3	5
13	瀬戸市	129	1,412	333	19	2.6	27	236	4	195	58.6	11	190,529	18	565	4.4	25
14	半田市	119	1,749	399	17	3.4	20	228	5	132	33.1	33	199,514	17	642	5.4	17
15	東海市	114	2,411	305	21	2.7	26	127	14	163	53.4	14	379,293	7	448	3.9	29
16	江南市	100	3,444	165	35	1.7	36	48	37	139	84.2	1	56,069	—	257	2.6	34
17	大府市	93	3,650	459	14	4.9	7	126	15	243	52.9	16	326,696	—	1,417	15.2	1
18	日進市	93	6,102	399	16	4.3	9	65	31	188	47.1	21	362,795	9	949	10.2	2
19	あま市	89	754	129	38	1.4	37	171	6	87	67.4	8	133,959	27	210	2.4	35
20	北名古屋市	86	3,022	183	30	2.1	33	61	33	76	41.5	29	264,708	13	447	5.2	19
21	知多市	85	3,229	335	18	3.9	13	104	21	180	53.7	13	83,472	—	465	5.5	16
22	尾張旭市	84	1,393	216	28	2.6	28	155	8	111	51.4	18	183,074	19	579	6.9	8
23	蒲郡市	79	1,986	267	23	3.4	19	134	12	102	38.2	32	205,344	16	438	5.5	14
24	犬山市	73	5,001	244	25	3.3	21	49	36	154	63.1	9	103,591	—	373	5.1	20
25	碧南市	73	4,327	469	13	6.4	2	108	20	191	40.7	30	126,324	28	337	4.6	24
26	知立市	72	2,477	221	27	3.1	23	89	25	98	44.3	26	177,072	23	365	5.1	21
27	豊明市	69	2,923	260	24	3.8	17	89	26	114	43.8	27	163,656	24	444	6.4	11
28	清須市	69	3,339	157	36	2.3	32	47	38	114	72.6	4	155,741	25	299	4.3	27
29	愛西市	62	2,012	148	37	2.4	31	74	30	106	71.6	5	50,400	31	134	2.2	37
30	みよし市	61	3,807	324	20	5.3	3	85	27	173	53.4	15	178,647	22	585	9.6	4
31	長久手市	61	4,201	238	26	3.9	14	57	34	92	38.7	31	267,654	12	480	7.9	7
32	津島市	61	5,900	304	22	5.0	5	52	35	157	51.6	17	148,963	26	335	5.5	15
33	田原市	60	3,972	439	15	7.3	1	111	19	319	72.7	3	181,871	20	489	8.2	6
34	常滑市	58	700	166	34	2.9	25	237	3	104	62.7	10	23,590	—	309	5.3	18
35	高浜市	49	280	207	29	4.2	11	739	1	96	46.4	22	29,030	—	158	3.2	32
36	岩倉市	48	2,588	168	33	3.5	18	65	32	119	70.8	6	—	—	242	5.0	22
37	新城市	45	2,021	171	32	3.8	16	85	28	79	46.2	23	96,535	29	151	3.4	31
38	弥富市	44	1,978	178	31	4.0	12	90	24	81	45.5	25	91,611	30	136	3.1	33
	県内平均	187	4,100	453		3.5		133		211	51.8		282,156		749	5.6	

※1：各市の公表資料（令和 4 年度実績）による。大府市、知多市、犬山市、常滑市、高浜市は「利用者数」を示し、江南市は「貸出者数」を示す。

※集計年（2022. 04. 01～2023. 03. 31）

出典：日本の図書館 統計と名簿 2023（公益社団法人日本図書館協会）

(6) 人口同規模自治体との比較

本市の図書館の水準を人口同規模自治体（豊橋市の人口±5 万人程度）と比較した結果を図表 2-13 に示します。延床面積は平均程度、蔵書数・登録者数は上位水準となっていますが、開架率は下位水準となっています。そのため、他自治体に比べ閉架の図書が非常に多く、大規模な閉架書庫が必要とされます。

図表 2-13 同規模自治体中央図書館との比較

(人口順)																							
整理 番号	自治体名	人口 (千人)	延床面積 (㎡)		蔵書冊数 (千冊)		人口 1人当たり 蔵書冊数 (冊)		1㎡当たり 蔵書冊数 (冊)		開架 冊数 (千冊)	開架率 (%)	登録 者数 (千人)	登録率 (%)	来館者数 ※1 (人)		貸出冊数 (千冊)		人口 1人当たり 貸出冊数 (冊)				
			順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位	順位					順位	順位	順位	順位	順位				
1	豊田市	419	12,567	1	1,617	1	3.9	21	129	23	941	58.2	7	399.4	95.3	1	837,115	2	2,721	1	6.5	19	
2	富山市	411	4,621	15	482	16	1.2	16	104	12	157	32.6	17	91.3	22.2	15	654,422	5	457	20	1.1	21	
3	豊中市	409	3,272	20	213	23	0.5	23	65	20	199	93.4	1	26.7	6.5	22	183,075	-	717	15	1.8	15	
4	長崎市	406	11,659	2	1,266	2	3.1	1	109	10	862	68.1	2	59.4	14.6	19	647,544	6	1,663	3	4.1	3	
5	岐阜市	404	9,210	4	559	11	1.4	11	61	21	-	-	-	335.9	83.1	3	747,605	4	1,498	5	3.7	6	
6	宮崎市	401	6,409	8	466	17	1.2	17	73	17	268	57.5	9	182.8	45.6	8	242,878	13	633	17	1.6	16	
7	枚方市	398	9,302	3	539	12	1.4	13	58	22	349	64.7	4	148.5	37.3	11	343,270	10	1,243	9	3.1	8	
8	横須賀市	393	4,033	16	516	13	1.3	15	128	6	255	49.4	12	238.8	60.8	5	157,902	19	1,318	8	3.4	7	
9	岡崎市	385	7,895	5	954	3	2.5	3	121	8	487	51.0	11	236.6	61.5	4	1,252,598	1	1,941	2	5.0	1	
10	一宮市	382	6,589	7	673	9	1.8	9	102	13	-	-	-	153.4	40.2	10	579,518	7	1,451	6	3.8	4	
11	吹田市	379	3,453	18	287	21	0.8	22	83	15	88	30.7	19	9.5	2.5	23	191,866	16	552	18	1.5	17	
12	豊橋市	373	5,655	12	697	5	1.9	5	123	7	179	25.7	20	178.7	47.9	7	245,147	12	840	12	2.3	12	
13	長野市	372	4,959	13	690	6	1.9	6	139	4	230	33.3	16	31.0	8.3	21	278,884	11	864	11	2.3	10	
14	高崎市	371	5,983	10	688	7	1.9	7	115	9	367	53.3	10	84.2	22.7	14	482,843	8	1,396	7	3.8	5	
15	和歌山市	363	7,597	6	512	14	1.4	10	67	19	303	59.2	5	99.5	27.4	12	787,767	3	702	16	1.9	14	
16	川越市	353	5,931	11	482	15	1.4	12	81	16	164	34.0	15	68.8	19.5	16	182,054	18	506	19	1.4	18	
17	奈良市	353	2,666	23	283	22	0.8	20	106	11	190	67.1	3	55.9	15.8	18	187,706	17	414	21	1.2	20	
18	高槻市	350	2,966	22	639	10	1.8	8	215	1	198	31.0	18	42.5	12.1	20	348,725	9	927	10	2.6	9	
19	越谷市	345	3,235	21	682	8	2.0	4	211	2	403	59.1	6	142.8	41.4	9	228,351	15	1,548	4	4.5	2	
20	大津市	344	3,350	19	462	18	1.3	14	138	5	168	36.4	14	66.2	19.2	17	237,577	14	763	13	2.2	13	
21	所沢市	344	3,579	17	340	20	1.0	19	95	14	144	42.4	13	89.6	26.0	13	97,450	-	341	22	1.0	23	
22	前橋市	333	4,765	14	345	19	1.0	18	72	18	200	58.0	8	162.9	48.9	6	81,236	-	340	23	1.0	22	
23	旭川市	328	6,203	9	918	4	2.8	2	148	3	212	23.1	21	282.3	86.1	2	159,803	-	743	14	2.3	11	
		375	5,909		622		1.7		111		303	49.0		138.6	36.7		398,058		1,025		2.7		

※1：各市の公表資料（令和 4 年度実績）による。所沢市、前橋市、旭川市は「利用者数」を示し、豊中市は「貸出者数」を示す。

※集計年（2022. 04. 01～2023. 03. 31）

出典：日本の図書館 統計と名簿 2023（公益社団法人日本図書館協会）

2.3. 市民ニーズ

(1) 市民意識調査

市民と行政が一体となったまちづくりを推進するにあたり、本市が実施している「市民意識調査」を利用し、図書館に関する調査結果の考察をしました。

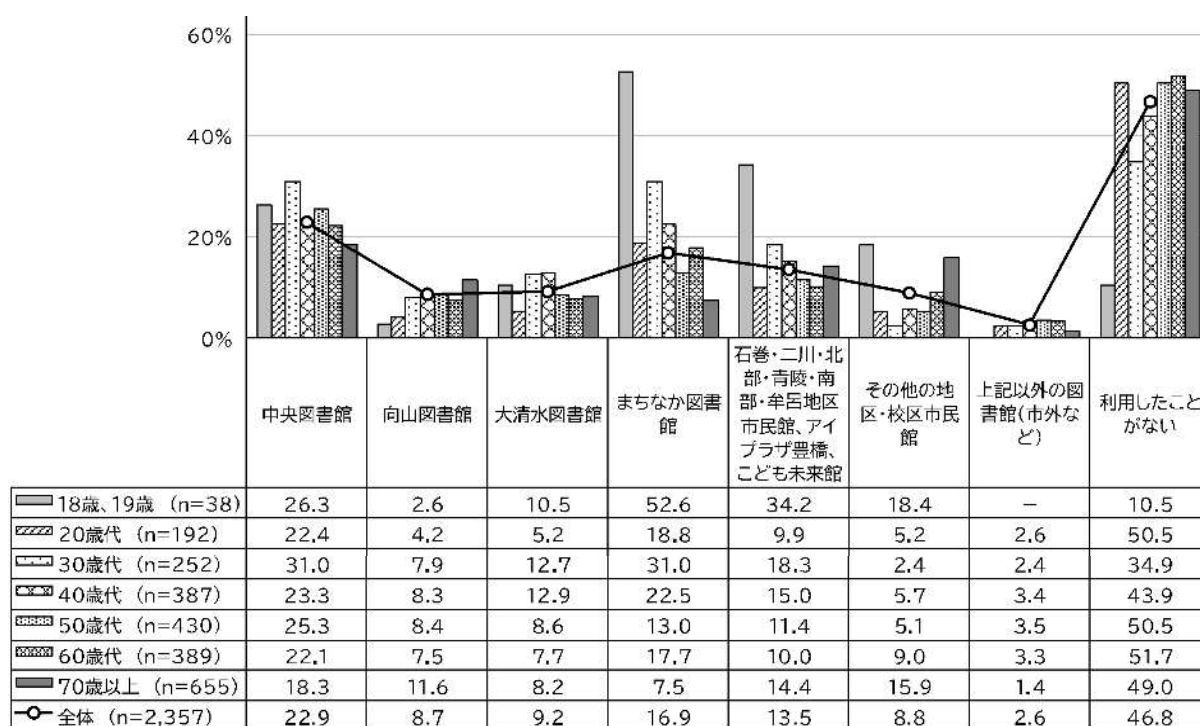
① 過去1年間の図書館の利用状況

全体的傾向としては、「利用したことがない」と回答した人の割合が46.8%と最も高く、次いで「中央図書館」（22.9%）、「まちなか図書館」（16.9%）と続いています。

年代別にみると、18歳、19歳は「まちなか図書館」と回答した人の割合が52.6%と最も高くなっています。また、20歳代以上は「利用したことがない」と回答した人の割合が最も高くなっていますが、利用したことのある人の中では、30歳代は「中央図書館」と「まちなか図書館」が31.0%、30歳代以外は「中央図書館」が18.3%から25.3%と最も高くなっています。

10代はまちなか図書館を利用する割合が一番多く、年代が上がると中央図書館を利用する割合が多くなる傾向があり、中央図書館とまちなか図書館とで利用者の年齢層によるすみ分けがなされていることがわかります。

図表2-14 図書館利用状況（あてはまるものすべて）【令和4年度調査】



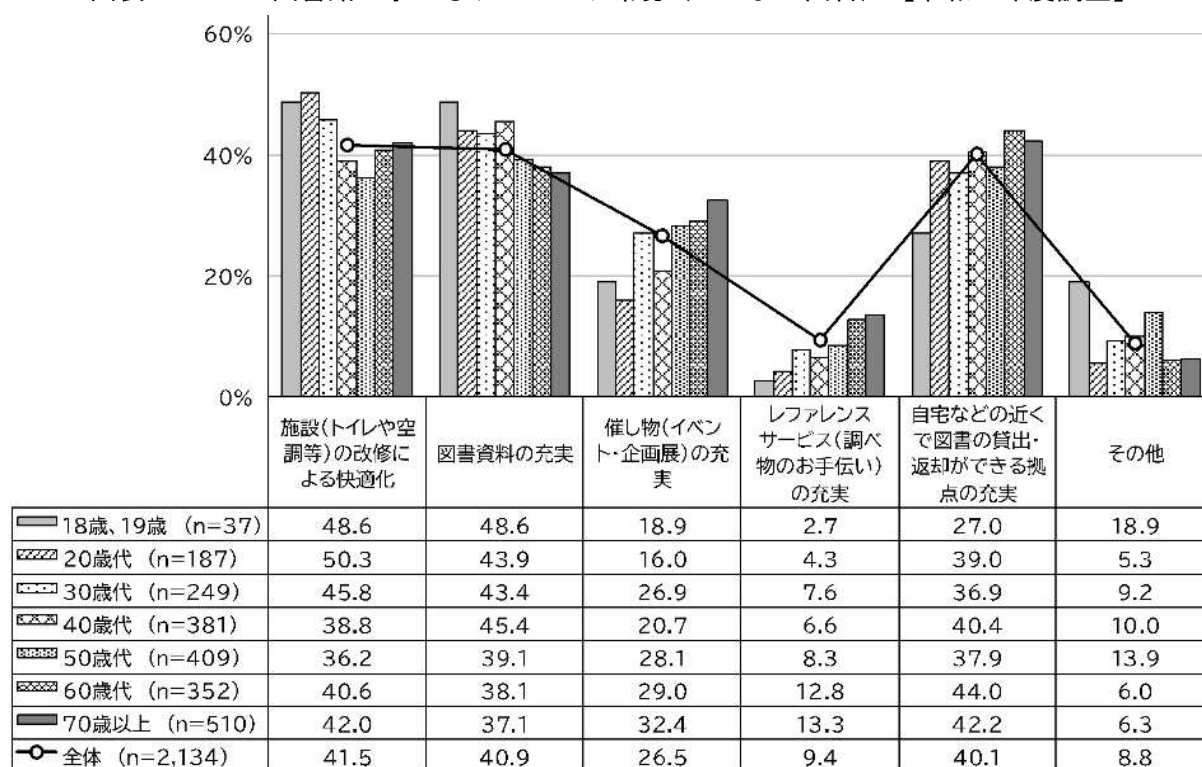
② 図書館に求めるサービスや環境

全体的傾向としては、「施設（トイレや空調等）の改修による快適化」と回答した人の割合が 41.5%と最も高く、次いで「図書資料の充実」（40.9%）、「自宅などの近くで図書の貸出・返却ができる拠点の充実」（40.1%）と続いています。

年代別にみると、18 歳、19 歳は「施設の改修による快適化」と「図書資料の充実」、20 歳代、30 歳代は「施設の改修による快適化」、40 歳代、50 歳代は「図書資料の充実」、60 歳代以上は「自宅などの近くで図書の貸出・返却ができる拠点の充実」の割合がそれぞれ最も高くなっています。

「施設の改修による快適化」と回答した割合が一番多く、また、30 歳代以下の若い世代で特に多いことがわかりました。老朽化している中央図書館を改修し快適化を実現することで、多くの利用者の満足度を長期的に維持・向上させることができると考えられます。

図表 2-15 図書館に求めるサービスや環境（2 つまで回答）【令和 4 年度調査】



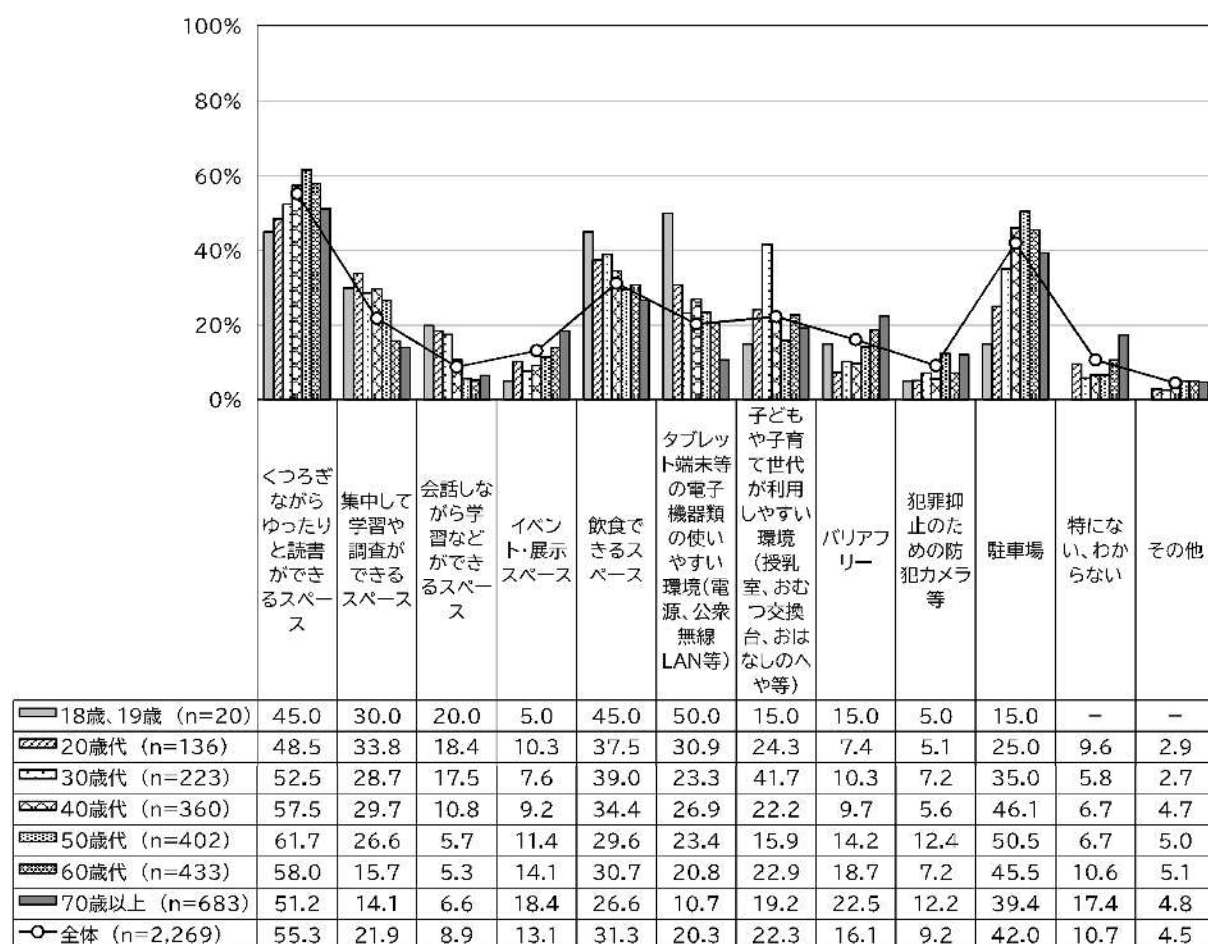
③ 中央図書館の改修に対する要望（ハード面）

全体的傾向としては、「くつろぎながらゆったりと読書ができるスペース」と回答した人の割合が 55.3%と最も高く、次いで「駐車場」（42.0%）、「飲食できるスペース」（31.3%）と続いています。

年代別にみると、すべての年代で「くつろぎながらゆったりと読書ができるスペース」と回答した人の割合が高く、4 割を超えています。また、18 歳、19 歳は「タブレット端末等の電子機器類の使いやすい環境（電源、公衆無線 LAN 等）」と回答した人の割合が 50.0%、30 歳代は「子どもや子育て世代が利用しやすい環境（授乳室、おむつ交換台、おはなしのへや等）」と回答した人の割合が 41.7%と他の年代と比べ高くなっています。

気軽に立ち寄ることができ、好きな本を読みながら、ゆっくりくつろいで時間を過ごせる居心地の良い場所が求められていると考えられます。

図表 2-16 中央図書館の改修に対する要望（ハード面）（3 つまで回答）【令和 5 年度調査】



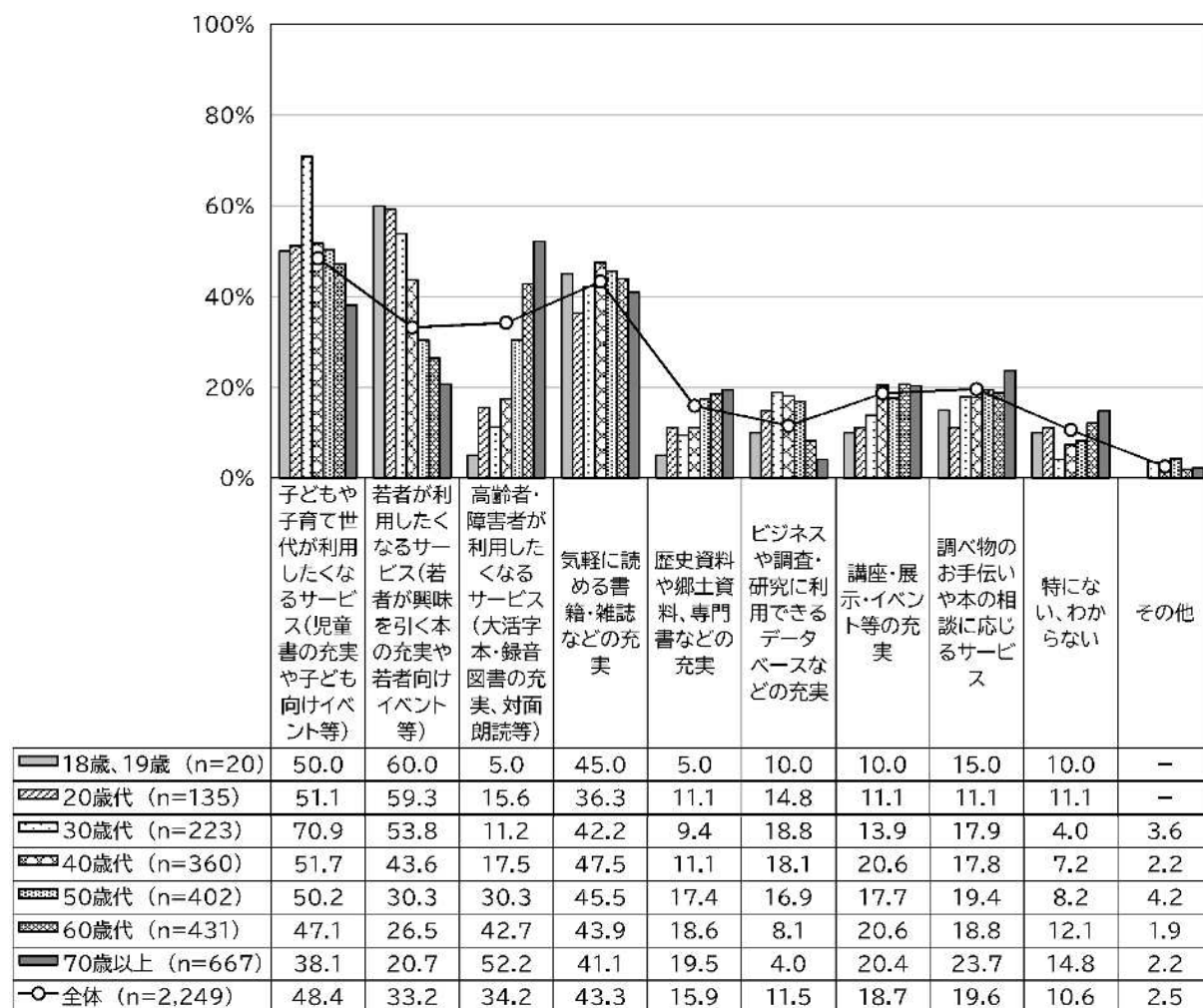
④ 中央図書館の改修に対する要望（サービス面）

全体的傾向としては、「子どもや子育て世代が利用したくなるサービス（児童書の充実や子ども向けイベント等）」と回答した人の割合が 48.4%と最も高く、次いで「気軽に読める書籍・雑誌などの充実」（43.3%）、「高齢者・障害者が利用したくなるサービス（大活字本・録音図書の充実、対面朗読等）」（34.2%）と続いています。

年代別にみると、30 歳代は「子どもや子育て世代が利用したくなるサービス（児童書の充実や子ども向けイベント等）」と回答した人の割合が高く 7 割を超えています。18 歳、19 歳は「若者が利用したくなるサービス（若者が興味を引く本の充実や若者向けイベント等）」と回答した人の割合が 6 割となっています。

「若者が利用したくなるサービス」と回答した人の割合は年代が低くなるほど高く、「高齢者・障害者が利用したくなるサービス」と回答した人の割合は年代に比例し高くなる傾向があることから、ライフステージに応じた多様なサービスの提供が求められます。

図表 2-17 中央図書館の改修に対する要望（サービス面）（3 つまで回答）【令和 5 年度調査】



(2) 図書館利用者アンケート

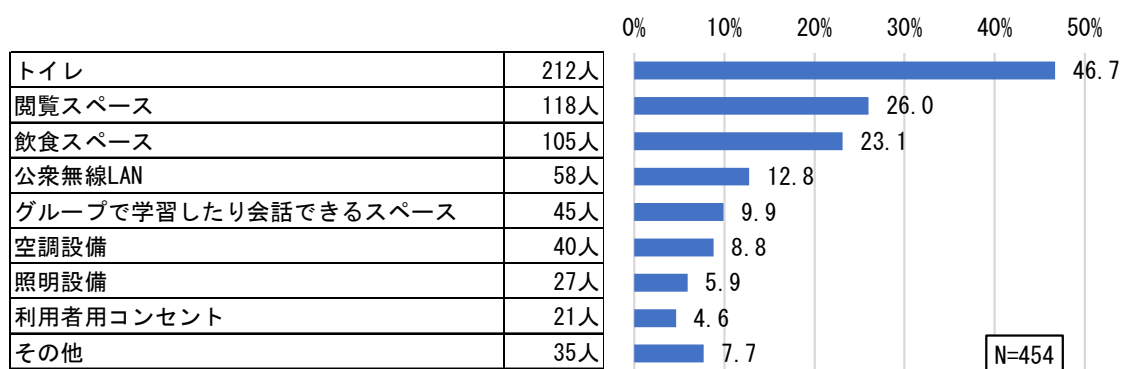
図書館サービス改善のために、本市の図書館利用者を対象に毎年実施している「図書館利用者アンケート調査」より、中央図書館利用者の調査結果の考察をしました。

① 充実してほしい設備・機能（令和4年度調査）

「トイレ」が最も多く、次いで、「閲覧スペース」「飲食スペース」と続いています。

また、「グループ学習や会話ができるスペース」や「公衆無線LAN」の要望も1割程度あります。

図表2-18 充実してほしい設備・機能（3つまで回答）【令和4年度調査】

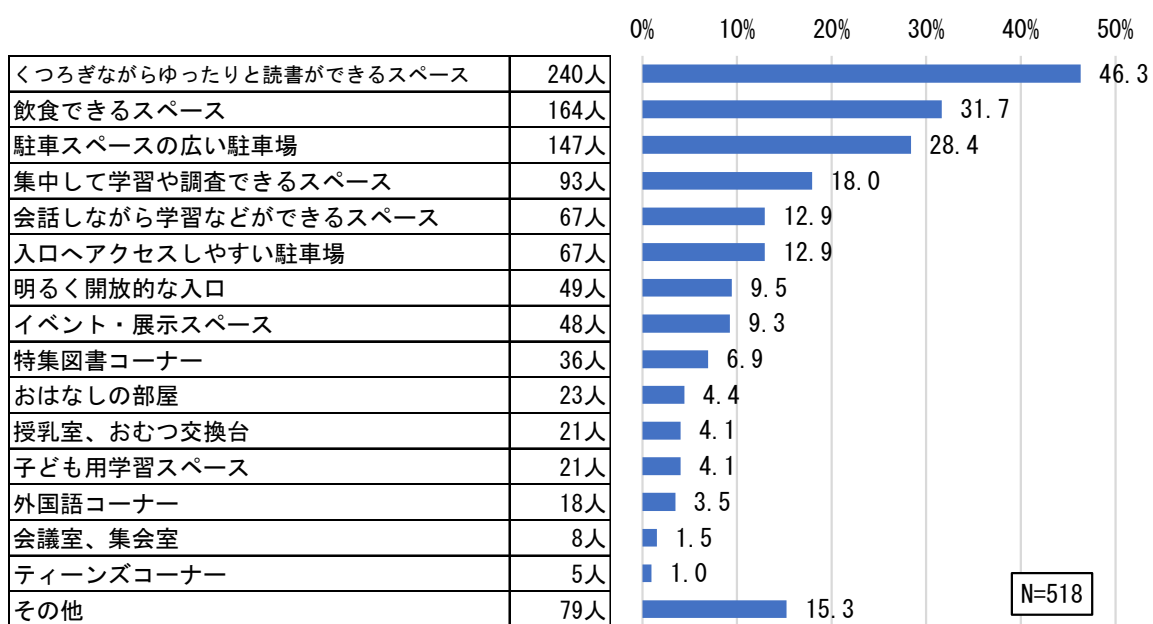


② 中央図書館の改修に対する要望（令和5年度調査）

「くつろぎながらゆったりと読書ができるスペース」が最も多く、次いで、「飲食できるスペース」「駐車スペースの広い駐車場」と続いています。

静かに集中して読書や学習ができるスペースが求められる一方で、談話や飲食ができるスペースも求められています。

図表 2-19 中央図書館の改修に対する要望（3つまで回答）【令和5年度調査】



(3) 中央図書館リニューアルに向けてのアンケート

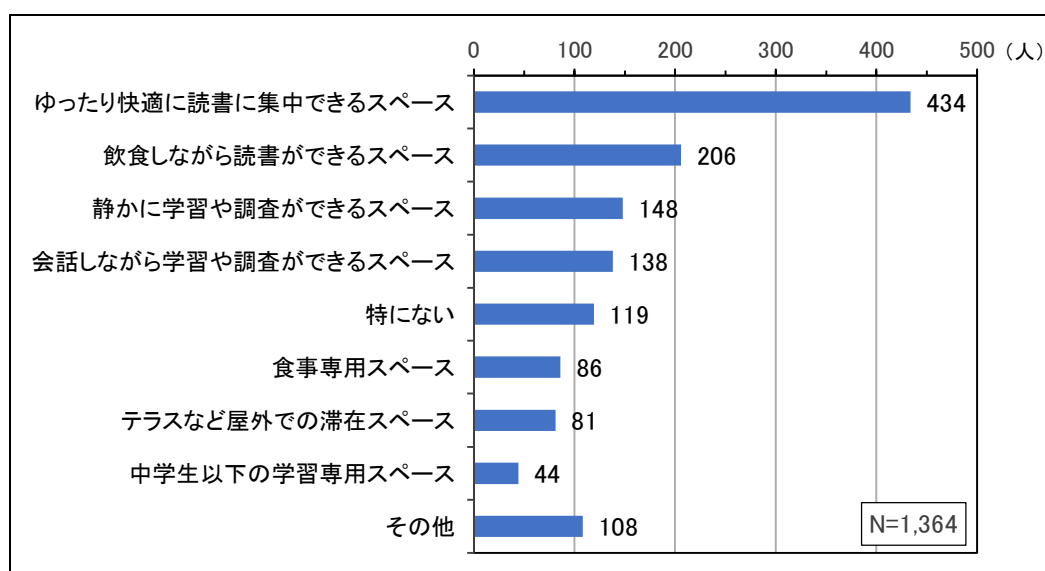
中央図書館のリニューアルに向けて市民意向を把握するため、「中央図書館リニューアルに向けてのアンケート調査」を実施しました。調査は令和 6 年 5 月に実施し、市内各図書館の利用者等から 1,384 票の回答が得られました。

① 改修後に必要だと思うスペース

「ゆったり快適に読書に集中できるスペース」が全体の約 3 割と最も多く、次いで「飲食しながら読書ができるスペース」が続いており、令和 5 年度の利用者アンケートと同様の結果となっています。

また、「会話をしながら学習や調査ができるスペース」と「静かに学習や調査ができるスペース」は同程度（約 1 割）のニーズがあることがわかります。

図表 2-20 改修後に必要だと思うスペース（1つ回答）



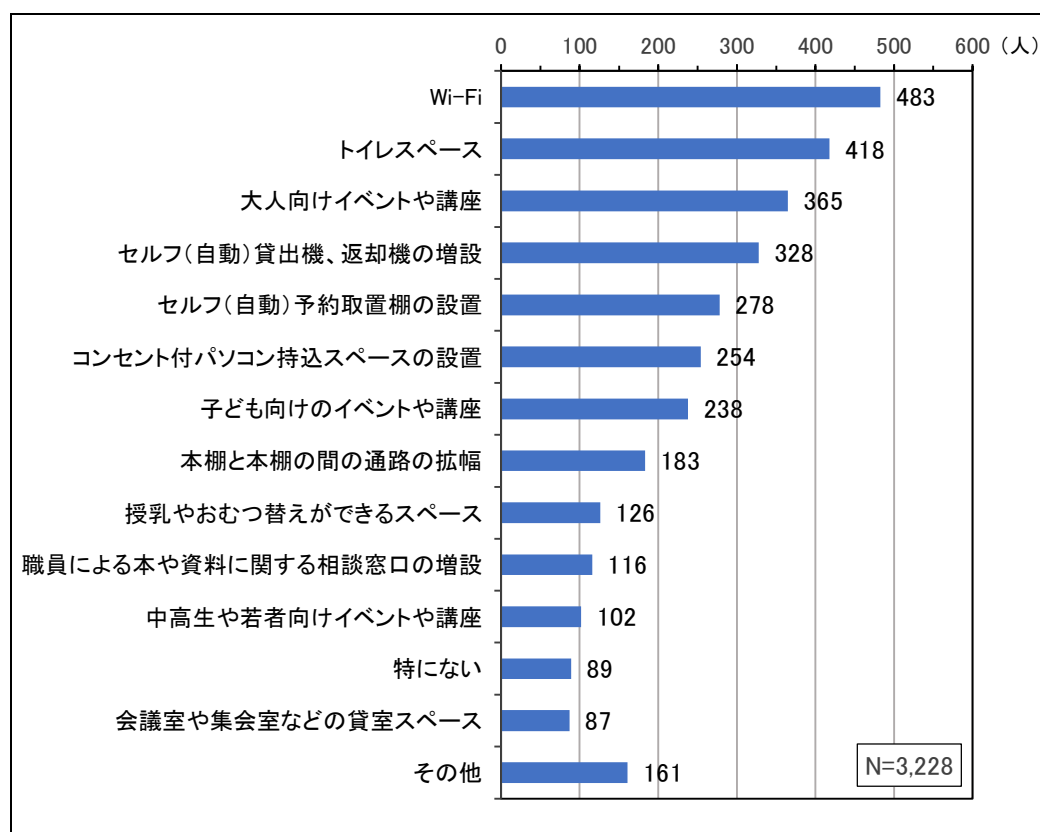
※無回答を除く

② 拡充を要望するサービス・機能

「W i - F i（公衆無線L A N）」が最も多く、次いで、「トイレスペース」「大人向けイベントや講座」が続いています。

上記に次いで、「セルフ（自動）貸出機、返却機の増設」や「セルフ（自動）予約取置棚の設置」の要望が多く、I C Tを活用した図書館サービス・管理システムの拡充が望まれています。

図表 2-2 1 拡充を要望するサービス・機能（3つまで回答）

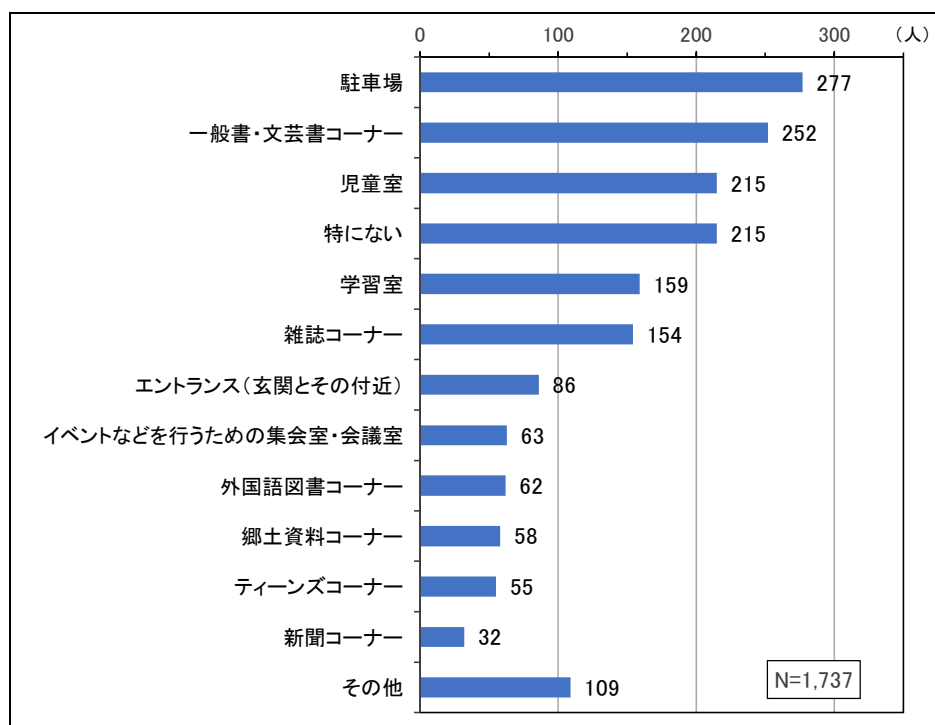


※無回答を除く

③ 拡充を要望するエリア

「駐車場」が最も多く、次いで、「一般書・文芸書コーナー」「児童室」が続いています。「特にない」と回答した人も同数で3番目に多くなっています。

図表 2-2 2 拡充を要望するエリア（2つまで回答）

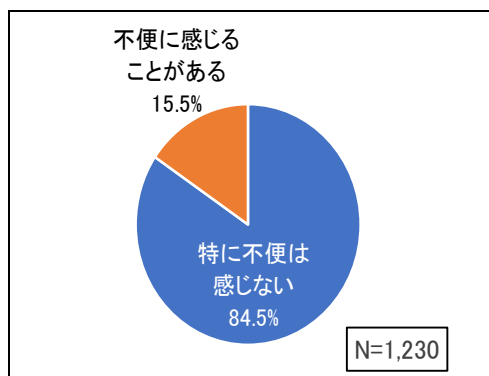


※無回答を除く

④ カウンター窓口

カウンター窓口が1階と2階に分かれていることに対して、閉架書庫にある本を借りる場合、2階窓口へ行く必要があるなど、「不便に感じることもある」と回答した人は約16%となっています。これは、1階、2階両方のカウンターを一度に利用する人が少ないことによると考えられますが、利用者の利便性向上のため、カウンター窓口を統合する等の対策を講じることが求められます。

図表 2-2 3 カウンター窓口が分かれていることに対する利便性



※無回答を除く

2.4. 建物調査

(1) 建物の現況

① 建築物

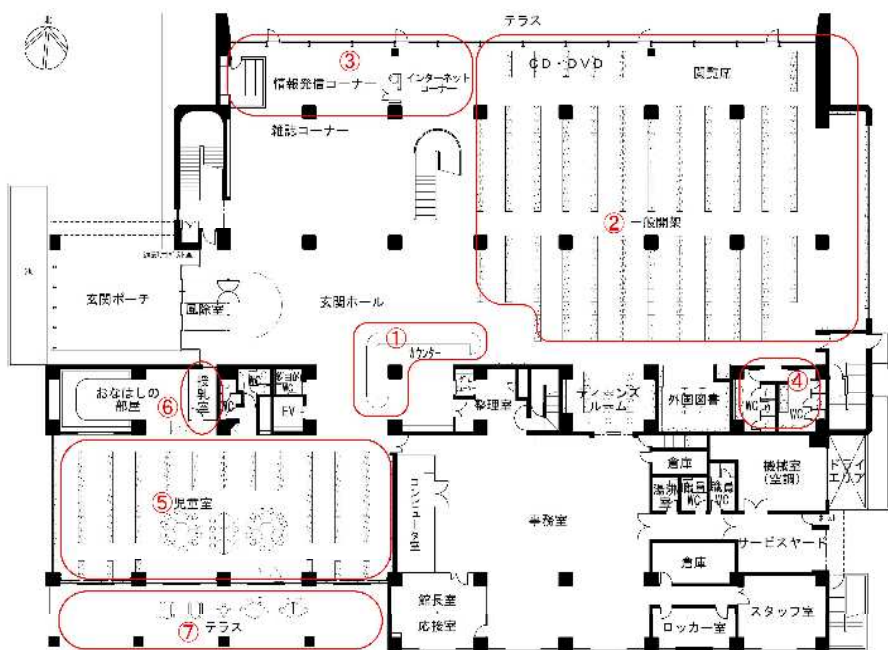
現地調査の結果、特に劣化の激しい建築内外装や空間的な問題点を図表 2-24 から図表 2-28 に示します。

図表 2-24 建物内外装の現況

項目	外壁タイル張り	項目	シーリング
概要	タイルの浮きやクラックが多数みられるため、改修が必要。	概要	経年劣化による弾力の低下やひび割れが発生しており、打ち替えが必要。
			
項目	内部	項目	内部
概要	カーペットに穴があいており、改修が必要。(1 階閲覧室)	概要	カーペットにシワや破れが生じており、改修が必要。(2 階閲覧室)
			
項目	内部	項目	内部
概要	カーペットに穴があいており、改修が必要。(階段)	概要	経年劣化によりカーペットが変色おり、改修が必要。(会議室)
			

項目	建具（自動ドア）	項目	建具
概要	開閉不良が確認されるため、改修が必要。	概要	開閉不良や破損個所が確認されるため、改修が必要。
			
項目	内部	項目	内部
概要	漏水箇所が散見されるため、改修が必要。	概要	仕上材の剥がれやカビが発生しており、改修が必要。
			
項目	内部	項目	屋上防水
概要	床にクラックや剥がれが発生しているため、改修が必要。	概要	耐用年数を超過しており、目地材の浮きや雑草が確認されるため、改修が必要。
			

図表 2-25 建築空間的な問題点（1階）



①カウンター



カウンターが 1 階と 2 階に分かれており不便。

②一般開架



書架が多く、閲覧席が少ない。

③情報発信コーナー



書架で遮られ人目につきづらい。

④ トイレ



トイレの使用音が外に聞こえる。
洋式便器が少ない。狭くて暗い。

⑤兒童室



防犯上、職員の目が届きにくい。
南側であるため、本が日に焼けや
すい。閲覧スペースや通路に余裕
がない。

⑥授乳室・おむつ替えスペース



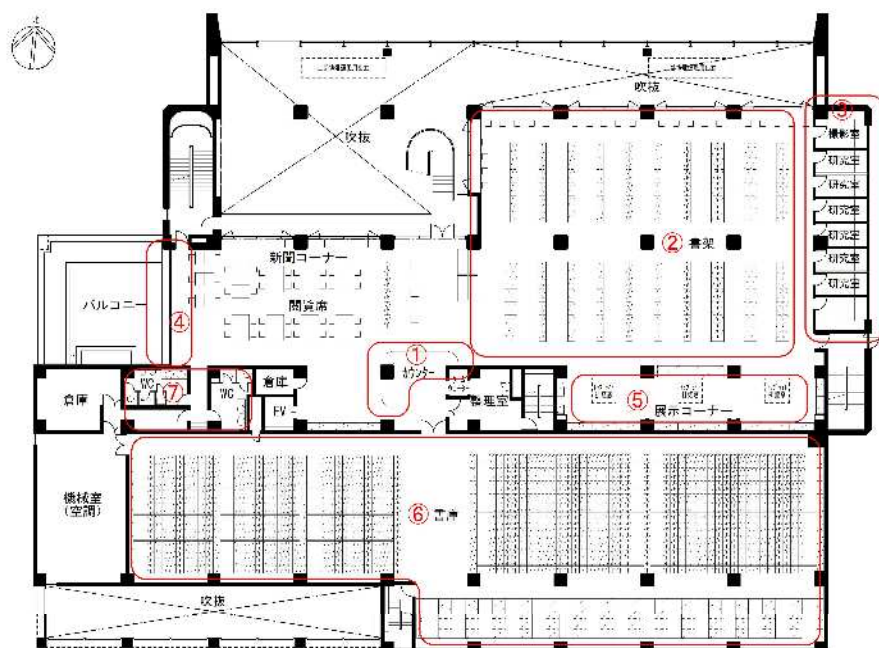
おむつ替えスペースと授乳室が狭く、カーテンで仕切られるだけであるため、十分にプライバシーが配慮されていない。

⑦テラス



夏は暑く、冬は寒い^{ため}、利用頻度が少ない。

図表 2-2 6 建築空間的な問題点（2 階）



①カウンター



カウンターが 1 階と 2 階に分かれており不便。

②書架



書架が足りない。職員から死角になる場所が多い。閲覧席が少ない。

③研究室



職員の目が届かず、防犯上の懸念がある。

④新聞コーナー



西日が強いので、書架を置くことが難しい。

⑤展示コーナー



天窓で下階の採光を確保しているが、展示物の日焼けの原因になっている。

⑥書庫



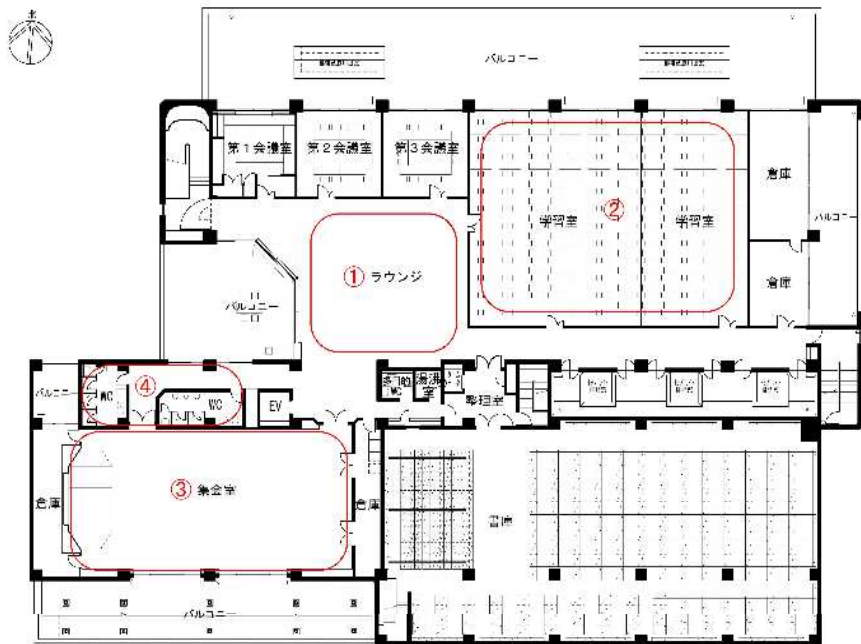
書架が飽和状態である。貴重資料を保管できる、空調の完備された場所がない。

⑦トイレ



洋式便器が少ない。狭くて暗い。

図表 2-27 建築空間的な問題点（3階）



①ラウンジ



広い空間となっているが十分に活用されていない。

②学習室



2人掛けの席を1人で使う利用者が多いが、学習室が2室とも満席になることはほとんどない。

③集会室



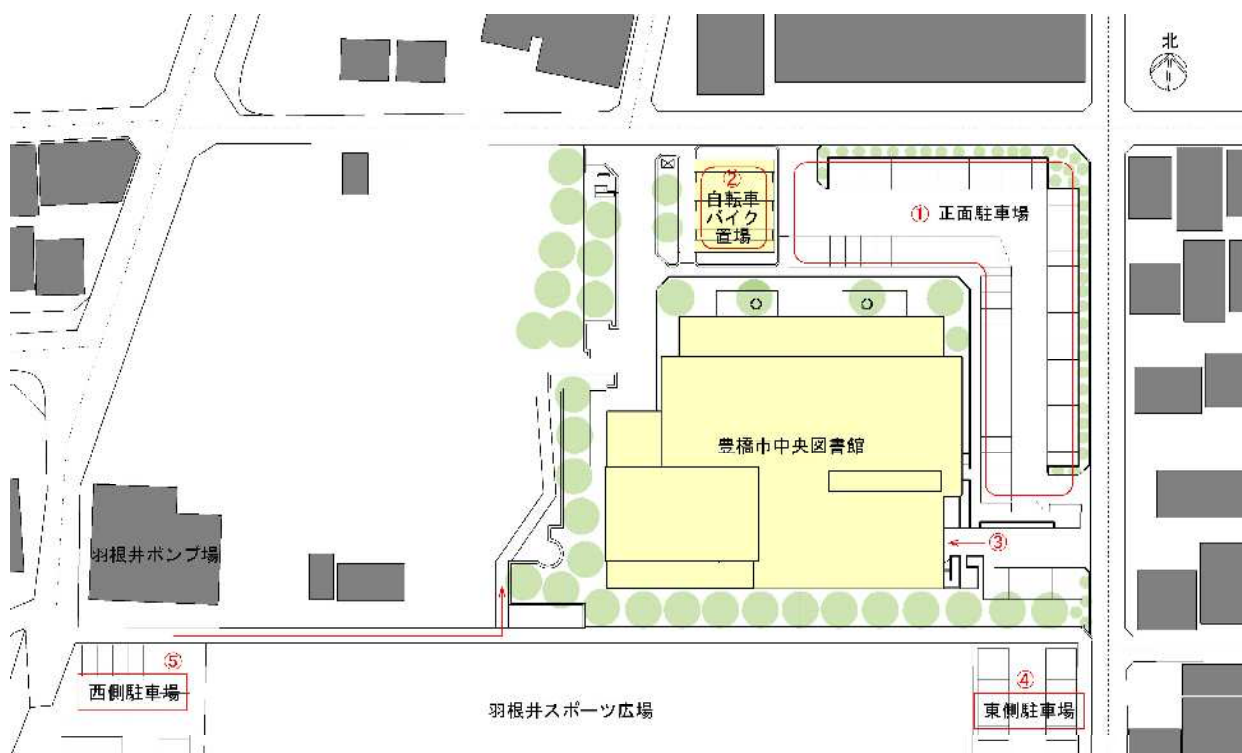
照明が暗いことに加え、窓前面に太陽光パネルが設置されているため室全体が暗く感じられる。

④トイレ



洋式便器が1つもない。狭くて暗い。

図表 2-28 建築空間的な問題点（外構）



①正面駐車場



最寄りとなる正面駐車場は満車で止められないことが多い。

②自転車・バイク置場



開放感が無く、暗いため、防犯上問題がある。バイク置場と駐輪場を兼ねているため安全性に問題がある。

③サービスヤード



サービスヤードへの出入口が狭く、搬入しづらい。

④⑤敷地外駐車場



西側駐車場は場所がわかりづらく、動線が悪い。東側駐車場はスポーツ広場と兼用であるため、駐車してよいかわかりづらい。

② 建築設備

設備の現状を図表 2-29 に示します。

いずれの設備も耐用年数を大きく超過しているため、全面的な改修が必要です。

図表 2-29 設備の現状

項目	概要
電気設備	多くの設備が竣工当時から取替えられておらず、耐用年数を大きく超過しているため、全面的な改修が必要。
空調設備	多くの設備が竣工当時から取替えられておらず、耐用年数を大きく超過しているため、全面的な改修が必要。
給排水設備	多くの設備が竣工当時から取替えられておらず、耐用年数を大きく超過しているため、全面的な改修が必要。
昇降機設備	人荷用エレベーターは平成 27 年に改修をしているため運行状態は良好であるが、既存不適格の解消が必要。 小荷物専用昇降機は耐用年数を超過しており、生産が中止されている部品もあるため、改修が必要。

(2) 建物躯体の劣化状況

コンクリートの平均圧縮強度試験は、いずれの階においても設計基準強度以上となっていました。また、コンクリートの中性化領域は、いずれの階においても鉄筋位置まで到達していませんでした。

「愛知県庁舎等施設長寿命化計画」における残存耐用年数の推定方法に従い、躯体の残存耐用年数の推定を行った結果、本施設の残存耐用年数は「予防保全により30年以上」となります。

図表 2-30 コンクリート圧縮強度試験の結果

階	コンクリート圧縮強度試験		中性化試験	
	平均圧縮強度 [N/mm ²]	設計基準強度 [N/mm ²]	平均中性化深さ [mm]	かぶり厚 [mm]
1	34.7	21.0	7.1	30
2	38.9	21.0	8.3	30
3	29.3	21.0	19.1	30
	床や壁にヘアクラックが確認されたが、構造体に影響のあるひび割れや欠損は確認されず。		鉄筋の腐食に起因する鉄筋に沿ったひび割れ、及び剥離・剥落（爆裂）は確認されず。	

2.5. 計画策定に向けた課題

中央図書館の現状分析から、リニューアルに向けた課題を整理しました。

○施設・設備の老朽化への対応

内装、防水、タイル等といった施設の老朽化により安全性、快適性が低下しています。加えて、諸設備も耐用年数を超過したものが多く、故障や不具合が生じています。利用者が安全・快適に利用できるように、施設・設備の改修が必要です。

○書庫の不足

大清水図書館やまちなか図書館は閉架書庫がなく、中央図書館や向山図書館の書架は飽和状態にあります。また、将来的に配本機能を担う可能性も考慮しながら、書庫の拡張や、搬出・搬入のためのスペースを確保する必要があります。

○貴重資料の保存・活用

指定文化財である羽田八幡宮文庫などの貴重資料を多数所有していますが、劣化・破損を防止するための保管方法や展示方法を検討する必要があります。

○スペースの有効活用

児童室のテラスや、3階ラウンジ等の十分に利活用されていないスペースがある一方で、ゆっくり読書ができる閲覧席や飲食スペース、ボランティアの作業スペース等が不足している状況であり、利用状況に即したスペースの有効活用を検討する必要があります。

○滞在スペースの充実

利用者の要望によると、「集中して読書や学習ができるスペース」の要望がある一方で、「会話をしながら飲食や学習ができるスペース」を求める声もあります。そのため、「静」と「動」の空間を分ける等、一人ひとりが快適に滞在できる空間づくりやサービスの提供を検討する必要があります。

○ユニバーサルデザインへの対応

トイレは洋式便器が少なく、劣化や破損が多いため、改修を望む声が多くあります。駐車場についても駐車がしにくく、施設最寄りの正面駐車場が満車になりがちであるため、改修を望む声が多くあります。誰もが使いやすい施設とするため、ユニバーサルデザインへの対応が必要です。

○空間構成の改善

職員の死角となる場所が多い、カウンターが1階、2階に分かれているといった空間構成上の問題が生じています。そのため、レイアウトの見直し等、利用者にとっても職員にとっても利用しやすく分かりやすい空間構成への改善を行っていく必要があります。

2.6. 類似施設の先進事例

リニューアル後にこれらの課題を解決するため、近年、リニューアルまたは新たに開館した国内の公立図書館の事例を整理し、コンセプト・整備方針の検討の参考としました。

図表 2-3 1 先進事例（リニューアル）

施設名	開館日 リニューアル日	コンセプト	主な改修内容・特徴
杉並区立中央図書館 (東京都)	S57.10 R2.9	- 誰もが気軽に利用できる、安全で快適な図書館をめざす - 杉並区立図書館サービス基本方針に掲げる図書館像の具現化をめざす - 時代のニーズを反映した図書館の成長・進化に対応できる、柔軟性のある建築をめざす	- 老朽化設備等の更新 - 学びやすい空間とするため、座席数の増設 - 滞在、くつろぎを目的としたカフェの新設 - インターネット環境の整備 - 屋外スペースの有効活用 - 親子で楽しめる児童室の拡充
浦安市立図書館 (千葉県)	S58.5 R2.3	もっと使いたくなる図書館へ	- 劣化のみられる内装や各設備の更新 - 環境に配慮した太陽光発電やデジタルサイネージの導入 - 利用促進のため閲覧スペースを拡充 - 収容能力の増強 - ワークスペースの設置 - 児童エリアの充実 - トイレの拡充
福井市立図書館 (福井県)	S51.8 R6.5	市民とともに成長する図書館	- 外壁の改修 - 明るく開放的な空間の整備 - 飲食可能なラウンジの整備 - グループ学習室の整備 - ベビーカーや車いすに配慮した配架
浜松市中央図書館 (静岡県)	S56.4 R4.8	安全で快適な公共空間を市民へ提供	- 劣化状況等に応じた不具合箇所の改修 - レイアウトの見直し - 公衆無線LANエリアの拡大 - ユニバーサルデザインに配慮したトイレ、授乳室の改善 - システムの更新 - 省エネ化に配慮したLED照明の整備

図表 2-3 2 先進事例（新築）

施設名	開館日	コンセプト・理念	特徴
岐阜市立中央図書館 みんなの森ぎふメディアコスモス (岐阜県)	H27. 7	市民に寄り添う、身近な「滞在型図書館」を目指して ・ここにいることが気持ちいい ・ずっとここにいたくなる ・何度でも来てみたくなる	・様々なタイプの閲覧席や、テラス席の設置など、滞在できる環境を整備 ・ＩＣによるセルフ予約棚での資料受取サービスを提供 ・各種データベース、無線ＬＡＮ環境などを整備し、持込みパソコン専用席を設置
武蔵野市立ひと・まち・情報 創造館 武蔵野プレイス (東京都)	H23. 4	・複数の機能を積極的に融合させ、図書や活動を通して、人とひとが出会い、それぞれが持っている情報（知識や経験）を共有・交換しながら、知的な創造や交流を生み出し、地域社会（まち）の活性化を深められるような活動支援型の公共施設をめざす。 ・人々の交流が自然に生み出される質の高い「場」を提供し続けることによって、横断的な活動や交流のネットワークの活性化を促す。	・10 代の関心に応えるための図書や雑誌と芸術系の図書とをアート＆ティーンズライブラリーとして提供。 ・若者の居場所としてのラウンジ、スタジオなどを図書館機能と併せて提供。
ＴＲＣ八千代中央図書館 (千葉県)	H27. 7	学び・憩い・集い・情報の場	・様々なニーズに応えるため、バリエーション豊かな閲覧席を設置。 ・児童書コーナーの閲覧席も充実しており、専用のレファレンスで職員に相談しやすい環境を提供。 ・児童書架と一般書架の中間位置に、グループ学習席を設置。
安城市図書情報館 アンフォーレ (安城市)	H29. 6	ひと、まち、みどりを育む 学びと情報のひろば	・子供と保護者のための児童書コーナーを提供。 ・読書通帳機や電子新聞モニター、予約本受取機の設置といったＩＣＴ技術を積極導入。 ・グループ学習室やディスカッションルーム、スタジオなど、用途に合わせて様々な部屋を提供。
葛飾区立図書館 (東京都)	H21. 10	①「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学べる生涯学習の拠点である図書館 ②毎日の生活情報から世界の最新情報までを提供する情報提供機関としての図書館 ③子どもからお年寄りまですべての利用者が、快適に利用できる図書館 ④地域文化の継承を図り、地域への理解と愛着を深め、新たな街づくりを支える図書館 ⑤区民と協働し、共に成長する図書館	・ユニバーサルデザインを採用し、資料情報読み上げ機、音声読書機、文字拡大・読み上げパソコン等、ＩＴを活用した読書環境を整備。 ・バリアフリースイレを整備。 ・対面朗読室を整備。

これらの先進事例から、図書館の改修・整備におけるポイントを次のとおり整理しました。

○安全に安心して利用できる空間づくり

老朽化した施設・設備の更新、充実により長寿命化を図ることで、建物性能の基本要件である安全性を確保していく必要があります。

○誰もが使いやすく、快適な空間づくり

ライフステージ（乳幼児・児童・青少年・社会人・高齢者といった年齢・世代）や、利用者の特性（勤労者、障害者、母国語が日本語でない方など）に応じ、ユニバーサルデザインを意識しながら、くつろぎの場や、多様な座席、飲食ができるスペースを設けるなど、誰もが使いやすく快適に滞在できる空間づくりが重要です。

また、適切な室温管理やトイレ等の衛生管理、内装デザインの向上も、快適な空間づくりの創出に期待できます。

○ICT 技術の積極活用

ICT 技術の導入により、資料の無断持出し防止、貸出・返却・予約受取のセルフ化、蔵書点検作業や書庫出納の短縮化などが図られ、業務効率化とサービス向上が期待できます。

最新技術導入による効果は、サービス向上、業務効率化だけでなく、図書館という場の価値を向上させ、地域の情報発信拠点として図書館が位置付けられていくことにつながっていきます。

○資料保存スペースの確保

中央図書館が担うべき資料の保存機能を維持するため資料保存のスペースを確保する必要があります。保存スペースを適切に確保し、蔵書を整理することで、蓄積された蔵書を効率よく提供することができ、サービス向上が期待できます。

○環境への配慮

省エネに配慮した設備機器の導入や環境配慮設計の取り入れなど、環境への負荷を少なくするための取組みが重要です。

第3章 基本方針

3.1. 中央図書館リニューアルの改修コンセプト及び整備方針

(1) コンセプト

現状の課題や先進事例を踏まえ、豊橋市中央図書館リニューアルの改修コンセプトを

未来につなぐ みんなの図書館

とします。

豊橋市の「知の拠点」として、これまでのように知識や情報資源の蓄積、保存といったあらゆる知的要求に応じていくとともに、時代やライフステージにより変化するニーズに応じていくために、施設も、サービス形態も成長し、利用者にとってもスタッフにとっても快適な空間の創出を図ります。

未来につなぐ図書館

- ・豊富な蔵書やサービス提供から新たな創造や自己の発見のきっかけを生み出し、未来を拓く場所
- ・歴史や文化、伝統を未来へ継承する場所
- ・図書、知識、情報、人などを、図書館という空間を通して直接結びつける、未来のまちづくりの拠点となる場所

みんなの図書館

- ・だれもが立ち寄る、身近で役立つ存在である場所
- ・だれもが使いやすく心地よい場所

(2) 整備方針

①安全で安心して利用できる施設・設備への更新

今後長期間安全で安心して利用できるように、耐用年数の超過や老朽化が著しい施設・設備の更新を図ります。

また、利用者が安心して利用できる施設とするため、外構を含めた施設全体の安全性に配慮した整備を行います。

②快適で魅力ある空間の創出

利用者のニーズや業務の効率化に配慮した使いやすい施設とするため、書架の配置や動線の見直しを図るとともに、子どもから高齢者まで、来館者一人ひとりが快適に滞在できる空間づくりに努めます。

また、持続可能な開発目標（SDGs）の推進や読書バリアフリー法の理念を踏まえ、性別、年齢、国籍、障害の有無等を問わず、誰にでも利用しやすいユニバーサルデザインに配慮した整備を行います。

③図書館サービスの充実に向けた環境の整備

中央図書館として、また、市内図書館ネットワークの基幹図書館として、飽和状態となっている書庫の拡張や、指定文化財である羽田八幡宮文庫などの貴重資料の保存対策の実施をはじめ、将来にわたる図書館サービスの維持・向上に必要な環境の整備を行います。

また、幅広い図書との出会いを楽しめるよう、開架図書や閲覧スペースの充実及び情報発信機能の強化を図るとともに、子どもたちにとって、ゆったりと過ごすことができ、心ゆくまで本に触れられる居場所となるよう、児童室を拡充します。

3.2. 蔵書目標規模

今後の分館の蔵書受入れや配本機能の移設の可能性も考慮し、現状よりも多くの図書を閉架書庫に保存できるようにします。併せて、開架図書数も増やすことで、開架の割合を現状と同程度以上とすることを目標とします。

リニューアル後の蔵書目標

蔵書冊数	82.0万冊
開架割合	25%以上

第4章 サービス計画

(1) 安全で安心して利用できる施設・設備への更新

建物の耐久性に大きな影響を与える屋上防水や外壁補修などの外装部を改修するとともに、老朽化により性能が低下している設備や劣化・破損している内装を適切に更新することにより、施設の安全性やエネルギー効率を高め、今後も長く、安心して利用できるよう整備を行います。なお、整備の優先順位を見極め、設備によっては、今後の維持管理の中での更新を行います。

また、防犯カメラの設置やレイアウトの工夫、駐輪場の再整備などにより、できるだけ死角をなくし、誰でも安心して利用できる施設とします。

(2) 快適で魅力ある空間の創出

① ゆっくり滞在できる空間の創出

静寂さや落ち着きを求める利用者に配慮し、ゆっくり読書ができる閲覧席や集中して学習できる環境を充実させます。また、適切にゾーニングを行い、読書等の合間に休憩や飲食ができるスペースや、複数人で会話をしながら学習のできるスペースを併せて整備することにより、来館者が気分や用途によって使い分け、気兼ねなく滞在できるようにします。

② 誰にとっても利用しやすい環境の提供

ユニバーサルデザインに配慮し、障害を抱える方や高齢者、子ども、妊娠中や子育て中の方、外国人など、誰にとっても利用しやすい環境を提供します。

③ 館内外の快適性・利便性の向上

来館者から要望の多いトイレの改修や止めやすい駐車場の整備、公衆無線 LAN 環境の充実に取り組みます。また、駐車場からエントランス、入館後の図書資料の返却から閲覧、検索、貸出、退館までの動線に配慮しながら、来館者がスムーズに利用できるようレイアウトの見直しやわかりやすい案内サインの設置を行います。

(3) 図書館サービスの充実に向けた環境の整備

① 新たな図書との出会いを促す空間の提供

各世代の課題や興味に応じた開架スペースの充実や閲覧スペースの拡張により、より多くの図書に触れられるようにし、来館者が新たな図書と出会ったり読書の世界へ足を踏み出したりするきっかけを提供します。

② 多種多様かつ豊富な図書資料の適切な収集・保存・活用・提供

「知の拠点」としてすべての人に質の高い教育を確保するために、多種多様かつ豊富な図書資料を引き続き収集・保存・活用・提供できるようにするとともに、今後、分館の蔵書も受け入れることを踏まえて書庫の拡張を図るほか、指定文化財である羽田八幡宮文庫などの貴重資料を適切に保存するための書庫を整備します。また、中央館として、将来的に配本機能を担う可能性を考慮したレイアウトの見直しを行います。

③子どもが自ら本を選ぶ楽しさを実感できる児童室の整備

子どもが発達段階に応じた図書に出会える機会を増やすとともに、読書や学習できるスペースを充実させます。また、子どもたちが本に親しむきっかけとなる読み聞かせスペース「おはなしのへや」を入りやすい快適な空間にします。

④情報発信機能の強化

来館者の関心の高いテーマや日常生活に役立つ情報、多文化に対応した資料のほか、郷土資料や羽田八幡宮文庫などの貴重資料をよりわかりやすく効果的に紹介できるよう、展示スペースのレイアウトの見直しや改修を行います。また、行政、学校、地域の各種団体や近隣の図書館などとも連携を進めることにより、情報発信機能の強化を図ります。

⑤カウンター窓口サービスの充実

1 階と 2 階に分かれているカウンター窓口を 1 階に統合し、ワンストップで閉架図書の貸出や一般的なレファレンスといったサービスが提供できるようにします。また、2 階には郷土に関することや高度なレファレンス対応に特化した窓口を設置することで、幅広い年代の調べ物や子どもの調べ学習の支援を図ります。

⑥図書館ボランティアの活動支援

読み聞かせや配架、本の修理などの図書館ボランティアが作業や打合せを行うためのスペースを確保することで、より活動しやすい環境づくりに努めます。

第5章 改修計画

サービス計画を踏まえ、リニューアル後の必要諸室及びそれぞれで想定する機能・用途、ゾーニングなどの基本的な考え方は、以下のとおりとします。

5.1. 建築計画

(1) 1階

○開架・閲覧席

- ・レイアウトを見直し、現状よりも多くの図書を配架できるようにするとともに、死角の少ない空間とします。
- ・閲覧席数を拡大し、ゆっくりと読書が楽しめるようにします。
- ・1階と2階に分かれているカウンター窓口を1階に統合し、ワンストップで貸出や一般的なレファレンスといったサービスが提供できるようにします。

○児童室

- ・児童室を南側テラス部分まで拡張し、ベビーカーでの利用に配慮した通路幅の確保や閲覧席の充実を図ります。
- ・読み聞かせ等のボランティアが活動に必要なものを置いたり、準備、簡単な打合せを行えたりできる部屋を整備します。
- ・性別に関係なく利用しやすいよう、おむつ替えスペースと授乳室を分けて整備します。
- ・親子での利用に配慮したトイレを設けます。

○ティーンズコーナー

- ・中高生のニーズに沿った幅広い資料の提供や学習環境を整備します。
- ・児童室、一般図書コーナーのどちらにもアクセスしやすい場所に配置します。

○情報発信コーナー

- ・図書館の豊富な資料や情報を活用し、パネル展や資料の展示、大型モニターでの映像の投影などを通じて、身近で役に立つ情報を発信する空間とします。
- ・利用者が足を運びやすくなるよう、コーナー自体やその周辺のレイアウトを工夫します。

○雑誌コーナー

- ・現状と同程度の雑誌を配架できるスペースを確保します。

○事務室

- ・将来的に配本機能を担う可能性も考慮しながら、搬出入動線・通路幅の確保に配慮するとともに、作業スペースを整備します。

○北側テラス

- ・屋外で読書や休憩ができるよう整備を検討します。

(2) 2階

○開架・閲覧席

- ・郷土資料や参考図書、司文庫を配架し、閲覧席についても1階よりも静かな環境で読書や調べものができるよう配慮します。
- ・レイアウトを見直し、現状よりも多くの図書を配架できるようにするとともに、死角の少ない空間とします。
- ・幅広い年代の調べ物や子どもの調べ学習の支援をするため、郷土に関することや高度なレファレンス対応に特化した窓口を設けます。
- ・研究室の利用者増と防犯面に配慮し、個別に電源を備えた間仕切りのある座席を設置することで、死角を少なくしつつ、集中して調査・研究を行えるスペースの拡充を図ります。

○新聞コーナー

- ・2階出入口付近に配置し、新聞閲覧用デスクなどを設けます。

○研究室

- ・レイアウトとブース数の見直しを行い、職員の目が行き届きやすく、防音に配慮した空間とします。

(3) 3階

○学習室

- ・室内の様子が視認できるように、透明なパーティション等で仕切られた部屋にするとともに、防音に配慮します。

○会議室

- ・防音に配慮します。
- ・会議室間は可動間仕切り壁で仕切り、一体でも使用できるようにします。

○談話・飲食コーナー

- ・気軽に立ち寄り、談話や飲食ができるように、ゆとりをもったレイアウトとします。

(4) その他

○各諸室

- ・老朽化や破損している仕上、建具の改修をします。
- ・利用者の安全に配慮し、浮きやクラックが生じているタイルを改修します。
- ・配管及び配線類の更新に必要となる範囲の天井を更新します。

○書庫

- ・書庫の地震対策を行い、安全に配慮します。
- ・書庫の拡張及び密集書架の増設、レイアウトの見直しにより、閉架書庫で約 60 万冊収蔵可能とします。
- ・貴重資料を保存するための書庫を整備します。

○トイレ

- ・衛生面に配慮し、湿式トイレから乾式トイレに改修します。
- ・便器はすべて洋式に更新します。
- ・開架からの視線や音漏れに配慮しつつ拡張し、快適な空間とします。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、車いす使用者や高齢者、乳幼児連れなど、さまざまな人が利用できるトイレを整備します。

○外壁

- ・利用者の安全性に配慮し、浮きやクラックが生じているタイルを改修します。

○屋上

- ・劣化が生じている屋上防水は塗膜防水を施します。

5.2. 構造計画

(1) 耐震壁

耐震壁については撤去や新たに開口を設けることはしないものとします。

(2) 積載荷重

現状開架及び書庫以外の用途として使用されている室に書架を設置する場合は、新築設計当時の積載荷重を超えないよう留意した設計とします。

- ・1 階は土間コンクリートであるため、地盤状況により移動書架の設置も可能であると考えられます。
- ・2 階、3 階は現状の室用途に合わせた設計荷重で構造計算がされているため、開架及び書庫以外の室に書架を設置する場合は、書架の設置数が限られてきます。

5.3. 設備計画

(1) 共通事項

- ・空調効率のよい設備の計画や、高効率・長寿命の機器の導入など、SDGsの推進、脱炭素社会や環境負荷の低減、ライフサイクルコストの低減を意識した設備とします。
- ・操作や維持管理がしやすい設備とします。
- ・耐震安全性を確保した計画とします。
- ・機器更新時を考慮したスペース及びルートを、適切に確保します。
- ・更新済みの箇所を除き、配管および配線類を更新します。

(2) 電気設備

- ・省エネに配慮し、照明をすべてLEDとします。
- ・館内の死角をなくすため、監視カメラを増設します。
- ・耐用年数を超過している設備や不具合が生じている設備（受変電設備、動力盤、電灯盤、防災アンプ、スピーカー、煙・熱感知器、非常照明器具、誘導灯等）を更新します。

(3) 空調設備

- ・メンテナンス性や経済性に配慮し、空調方式は集中空調から個別空調に変更します。
- ・空調方式の変更に伴い必要となる換気設備を設置します。
- ・各種配管からの結露、漏水及び水損対策を施します。

(4) 給排水設備

- ・トイレの改修に合わせ、衛生器具を更新します。
- ・その他、耐用年数を超過している設備や、不具合が生じている設備（汚水水中ポンプ、受水槽、高置水槽、揚水ポンプ、消火栓ポンプユニット等）を更新します。
- ・操作性の向上を図るため、易操作性の消火栓に更新します。

(5) 昇降機設備

- ・老朽化により不具合が生じている小荷物専用昇降機（ダムウェーター）を更新します。
- ・人荷用エレベーターの既存不適格を解消するため、特定防火設備で区画します。

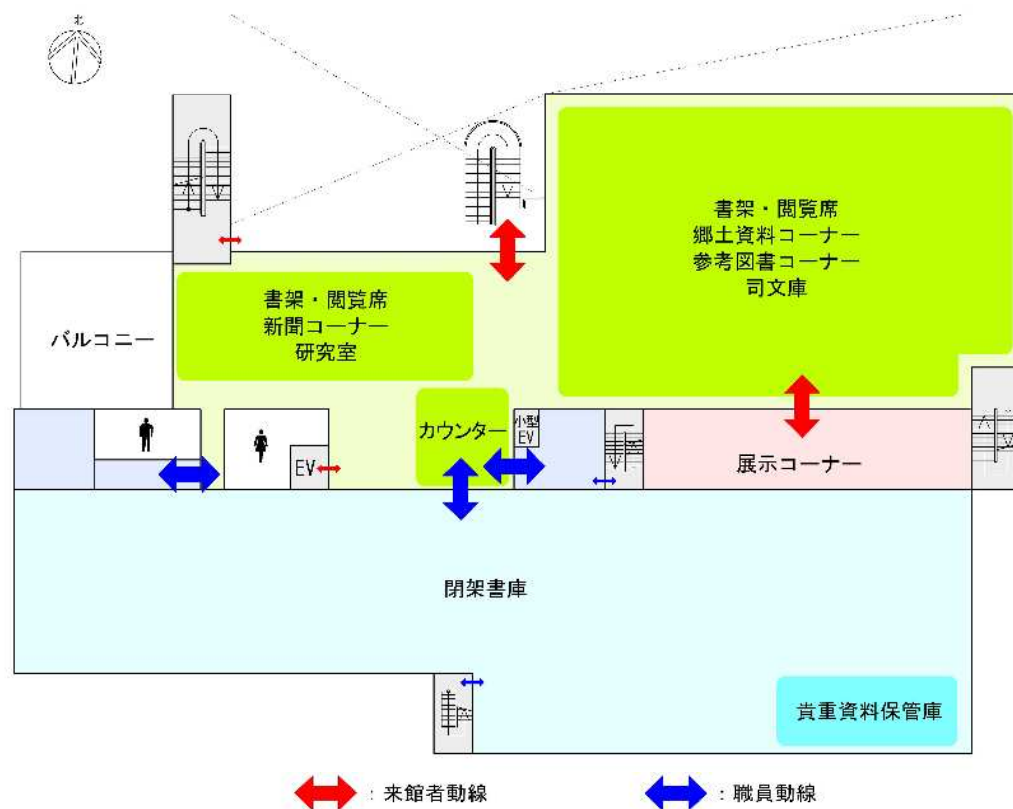
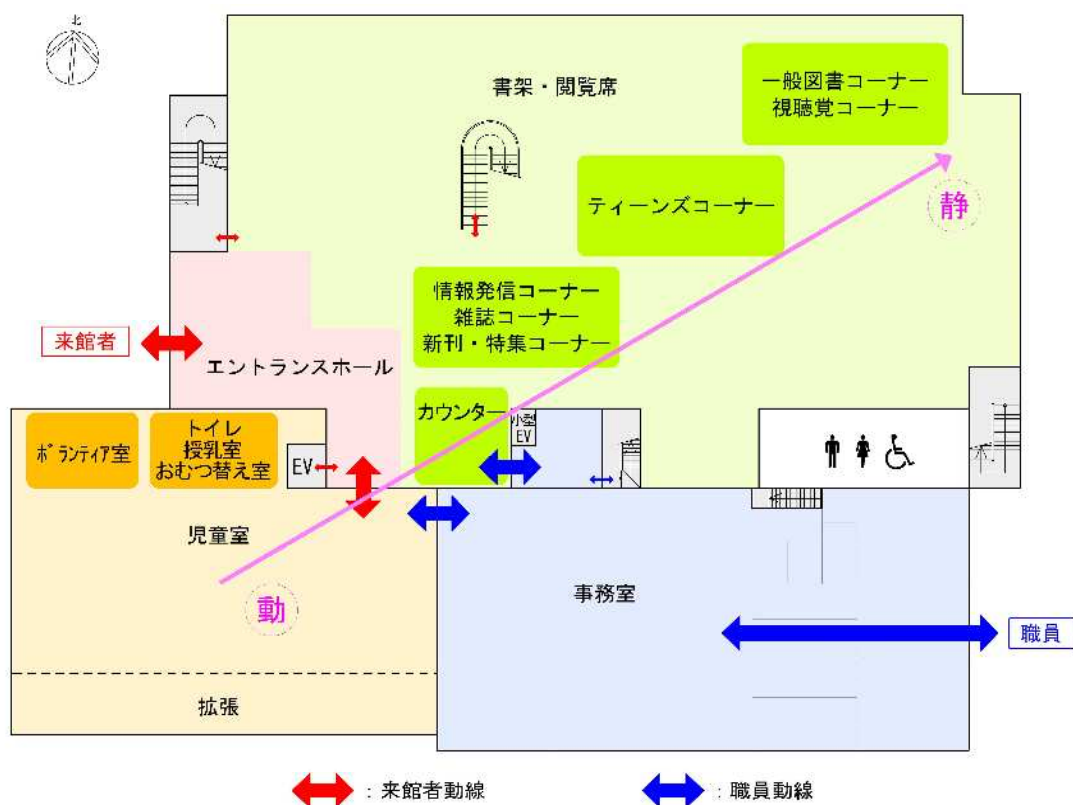
5.4. 外構計画

- ・来館者駐車場をバリアフリーに配慮しながら、止めやすくなるよう再整備するとともに、西側駐車場へのスムーズな誘導を図るため、案内サインを設置します。
- ・正面駐車場のバーストを撤去することで駐車場出入り口の幅を広げ、安全性に配慮した計画とします。
- ・防犯性・安全性に配慮しつつ、自転車もバイクも止めやすい駐輪場・バイク置場に再整備します。
- ・市内図書館ネットワークの基幹図書館として、将来的に、書庫の不足に備えた駐車場エリアへの書庫の拡張、エントランスへアクセスしやすい場所への駐車場の拡張を検討します。
- ・将来的に、配本機能を担う可能性を考慮しながら、図書の搬出入に配慮した管理用駐車場の再整備を検討します。

5.5. ICT関連計画

- ・インターネット利用環境の充実に向けて公衆無線LAN環境の強化を図ります。
- ・セルフ貸出機、返却機については、利用者の動向などを検証しながら必要な台数を見極め、利用しやすい場所に設置します。また、セルフ予約取置棚については、レイアウトと費用対効果の両面から導入可能性を検討します。
- ・館内閲覧席でインターネット等が閲覧できるように、タブレット端末を活用します。
- ・サーバー室については、浸水のリスクを回避するため、上層階への移設やデータセンターの利用などについて費用面も含めて検討します。

5.6. ゾーニングイメージ





第6章 事業計画

6.1. 概算事業費

本計画で策定した内容についての今後の概算事業費を図表 6-1 に示します。

建設工事費、設計・工事監理費、引越し・図書の保管等費用を合計して 2,210,000 千円と試算しています。

なお、令和 6 年度現在の単価で算出しているため、今後の物価上昇等によって金額が変更となる場合があります

図表 6-1 概算事業費（想定）

項目	金額（千円）
①建設工事費（建物・外構）	1,820,000
②設計・工事監理費	70,000
③引越し費、図書の保管等	320,000
計	2,210,000

6.2. 整備スケジュール

基本計画策定後の事業スケジュール予定は以下のとおりです。

項目	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
設計発注準備				
基本設計				
実施設計				
工事準備				
改修工事				
開館準備				
リニューアルオープン				